

令和 2年度 事務事業評価シート

[令和元年度事後評価]

整理番号	107				
部 局 名	福祉子ども部	所 属 名	幼児政策課	所 属 長	乾 一彦
事務事業名	00058 職員研修事業			記 入 者	金利 法子

＜1. 基本事項＞

総合計画の位置付け	区分	コード	名 称	根 拠 法令等	児童福祉法第45条
	方針	01	子どもから高齢者までが輝いて、魅力あふれるまちを創ります	関連する 個別計画	平成31年度研修計画
	政策	01	子どもの未来が輝くまちにします		
	施策	01	子育て環境の充実		
	視点	01	保育・幼児教育、児童クラブの「量」の確保と「質」の向上		
重事	99	その他			

関連事業	コード	事務事業名称	コード	所属名称

予算事業	会 計	枠	事業種別	予算事業名	始 期 ・ 終 期
	一般会計	管理	評価対象事業	職員研修事業費	

事業の概要
・保育所に求められる役割に応えるため、研修や研究活動を通して公私立保育園職員の資質向上を図り、保育所運営及び、保育内容の質を高める。

運営方法 直営 指定管理者 民間委託 出資団体委託 補助金交付 その他 ()

＜2. 事業分析＞ PLAN

目的 (何のために)	保育所等に働く職員が、保育所の運営及び保育内容の質を高め資質向上を図る
対象 (何又は誰を)	公立保育所の職員を対象とする。(一部民間保育所職員・地域型保育事業職員も参加の研修とする)
手段 (どのようなやり方で)	対象者別育成研修(経験年数や職種で分けるもの)及びテーマ(内容)別研修の開催や県・近畿・全国レベルの研修会への派遣・研究部会活動の実施
成果 (どのような状態にするのか)	子どもや保護者の実態やその背景の社会情勢を認識し、保育に関する知識と技術を用いて適切に判断・対応する

＜3. 経費＞ DO

		平成29年度 決算額(千円)	平成30年度 決算額(千円)	令和元年度 決算額(千円)	令和2年度 予算額(千円)	令和3年度 見込額(千円)	備 考
直接経費 A		819	649	628	917	917	
人件費 B		12,870	8,790	8,190	8,067	8,067	
事業費合計 A+B		13,689	9,439	8,818	8,984	8,984	
事業費 の財源 内 訳	国	427	132	209	250	250	
	県	0	0	0	0	0	
	起債	0	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	0	
	一般財源	13,262	9,307	8,609	8,734	8,734	
職 員 数 (人)		2.20	1.70	1.70	1.66	1.66	
職員数 の内訳	正 規	1.20	0.70	0.70	0.70	0.70	
	嘱 託	1.00	1.00	1.00	0.00	0.00	
	臨 時	0.00	0.00	0.00	0.96	0.96	

＜4. 指標＞ DO

		指 標 名	単 位	目標・実績	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	
活動指標	1	実施回数	回	目標	68	63	63	63	0	
				実績	61	60	67	-	-	
年間で開催した研修会、研究部会、派遣研修の回数										
活動指標	2			目標						
				実績						
成果指標	1	一人あたりの参加回数	回	目標	5.8	6.7	6	6	6	
				実績	6.9	6.2	5.1	-	-	
	参加総数/公立保育園等職員数									
	2	参加人数	名	目標	1,600	1,800	1,800	1,800	1,800	
実績				1,907	1,811	1,607	-	-		
年間で参加した総数										

<5. 評価> CHECK

事業を取りまく社会環境の状況	・子どもの命と権利を守るセーフティネットとしての役割を担い、子どもの発達保障と保護者の子育てを支援するという保育者の専門性と資質向上が更に求められている。		
これまでの見直しや改善等の経過	・第5次研修計画に基づき実施。日々の保育に実践的に活かせる内容など創意工夫するとともに、対象別の課題を明らかにして進めている。		
項目別評価	評価	評価理由	
妥当性 (実施主体又は手段は妥当か)	<input checked="" type="checkbox"/> A. 妥当である <input type="checkbox"/> B. ほぼ妥当である <input type="checkbox"/> C. あまり妥当ではない <input type="checkbox"/> D. 妥当ではない	・研修を通して子どもの捉え方や保護者対応の理解を深め、専門職としての必要な知識や技術を高めた。	
有効性 (事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか)	<input type="checkbox"/> A. 上がっている <input checked="" type="checkbox"/> B. やや上がっている <input type="checkbox"/> C. あまり上がっていない <input type="checkbox"/> D. 上がっていない	・近年の保育人員体制の状況や新型コロナウイルス感染症の影響により参加者数は減少しているが、開催回数を確保することで、研修で習得した知識や技術を保育の実践に活かすとともに、他の職員への伝達を積極的に実施することで、職場の保育の質の向上につながっている。	
効率性 (事業手法は効率的であるか。)	<input checked="" type="checkbox"/> A. 高い <input type="checkbox"/> B. やや高い <input type="checkbox"/> C. やや低い <input type="checkbox"/> D. 低い	・職種や経験年数などの対象別やテーマ別の研修を企画し、必要な知識や技術の習得・個別の関心に即した学びを深め、成果をあげている。	
総合評価	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 計画どおり事業を進めることが適当 <input type="checkbox"/> 2. 事業の進め方に改善が必要 <input type="checkbox"/> 3. 事業規模や見直しが必要 <input type="checkbox"/> 4. 事業の抜本的見直しや廃止が必要		

施策への貢献度	<input checked="" type="checkbox"/> A. 貢献している <input type="checkbox"/> B. やや貢献している <input type="checkbox"/> C. あまり貢献していない <input type="checkbox"/> D. 貢献していない	・研修の積み重ねの中で、保育所職員の資質向上を図り、子どもの健やかな成長を支え、多様な保育のニーズへの対応につながっている。
---------	--	--

<6. 今後の方向性> ACTION

方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 2. 見直しの上で継続 (<input type="checkbox"/> 2-1. 拡充・重点化 <input type="checkbox"/> 2-2. 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-3. 効率化 <input type="checkbox"/> 2-4. 簡素化・縮小 <input type="checkbox"/> 2-5. 統合 <input type="checkbox"/> 2-6. その他) <input type="checkbox"/> 3. 終期の設定 <input type="checkbox"/> 4. 終了() <input type="checkbox"/> 5. 休止 <input type="checkbox"/> 6. 廃止	・保育内容の多様化に対応できる研修内容を第5次研修計画に基づき実施していく。また第6次研修計画策定に向けて現在の研修の職員の満足度も把握し、時事課題の整理や大津の保育の継承の確認を進めていく。
部局長コメント	保育園等の運営に携わる保育士等の職員は、専門職として資質の研鑽を図ることが必要であり、保育の質の向上につながるような効果的な職員研修を実施していく。	

<7. 評価分析> ※成果増減率、コスト増減率は対前年度比

区分		平成29年度	平成30年度	令和元年度
目標達成率	指標1	118.96 %	92.53 %	85.00 %
	指標2	119.18 %	100.61 %	89.27 %
成果増減率	指標1	- %	-10.14 %	-17.74 %
	指標2	- %	-5.03 %	-11.26 %
活動単位コスト	指標1	224 千円	157 千円	131 千円
	指標2	0 千円	0 千円	0 千円
成果単位コスト	指標1	1,983 千円	1,522 千円	1,729 千円
	指標2	7 千円	5 千円	5 千円
コスト増減率		- %	-25.32 %	+9.42 %

令和 2年度 事務事業評価シート

[令和元年度事後評価]

整理番号	108		
部 局 名	福祉子ども部	所 属 名	幼児政策課
事務事業名	00060 公立保育所運営事業	所 属 長	乾 一彦
		記 入 者	一與 浩士

＜1. 基本事項＞

総合計画の位置付け	区分	コード	名 称	根 拠 法令等	児童福祉法
	方針	01	子どもから高齢者までが輝いて、魅力あふれるまちを創ります	関連する 個別計画	次世代育成支援行動計画 、子ども・子育て支援事業計画
	政策	01	子どもの未来が輝くまちにします		
	施策	01	子育て環境の充実		
	視点	01	保育・幼児教育、児童クラブの「量」の確保と「質」の向上		
重事	99	その他			
関連事業	コード	事務事業名称		コード	所属名称
予算事業	会計	枠	事業種別	予算事業名	始期・終期
	一般会計	管理	評価対象事業	公立保育所運営事業費	
事業の概要	公立保育所の管理・運営を行う。 園数：15園（ただし、葛川保育園は平成27年4月より休園） 定員：1,610人（葛川保育園を除く） 入所児童数-1,372人 ※H31.4.1現在				
運営方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 指定管理者 <input type="checkbox"/> 民間委託 <input type="checkbox"/> 出資団体委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他（ ）				

＜2. 事業分析＞ PLAN

目的 (何のために)	公立保育所の管理・運営及び保育の実施
対象 (何又は誰を)	公立保育園及び入所児童
手段 (どのようなやり方で)	「望ましい環境の中で心身ともに調和のとれた発達を図り、自主・自立・協調性を養い、豊かな情操と創造性を培う」を大津市基準保育目標とし、保育を実施する。
成果 (どのような状態にするのか)	各年齢ごとに発達の特徴とねらい、内容、保育者のかかわり方を「保育課程」として作成し職員が共通理解の上で子どもの自発性を大切に興味や欲求を満たした生活や遊びを通して個々の発達に応じた保育をする。

＜3. 経費＞ DO

		平成29年度 決算額(千円)	平成30年度 決算額(千円)	令和元年度 決算額(千円)	令和2年度 予算額(千円)	令和3年度 見込額(千円)	備 考
直接経費 A		206,352	230,606	245,466	239,292	224,673	
人件費 B		1,942,258	1,940,251	2,053,500	1,989,355	1,989,355	
事業費合計 A+B		2,148,610	2,170,857	2,298,966	2,228,647	2,214,028	
事業費 の財源 内 訳	国	19,318	19,070	19,448	17,209	17,209	
	県	18,376	20,982	3,716	45,555	45,555	
	起債	0	0	0	0	0	
	その他	437,844	419,135	295,402	318,488	318,488	
	一般財源	1,673,072	1,711,670	1,980,400	1,847,395	1,832,776	
職員数(人)		346.65	341.15	346.55	314.57	314.57	
職員数 の内 訳	正規	200.85	201.45	213.85	198.85	198.85	
	嘱託	33.60	34.50	37.50	0.00	0.00	
	臨時	112.20	105.20	95.20	115.72	115.72	

＜4. 指標＞ DO

		指 標 名	単 位	目標・実績	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
活動指標	1	年度当初入所定員	人	目標	1,610	1,610	1,610	1,610	1,610
		実績		1,610	1,610	1,610	-	-	
		公立保育園の入所定員(4月1日現在)							
成果指標	1	年度当初入所児童数	人	目標	1,610	1,610	1,610	1,610	1,610
		実績		1,496	1,426	1,372	-	-	
		公立保育園の入所児童数(4月1日現在)							
2	2	障害児の受入児童数	人	目標	100	100	100	100	100
		実績		120	126	116	-	-	
		公立保育園の入所障害児数(4月1日現在) ※平成28年度より指標に追加							

令和 2年度 事務事業評価シート

[令和元年度事後評価]

整理番号	116		
部 局 名	福祉子ども部	所 属 名	保育幼稚園課
事務事業名	00063 民間保育施設運営助成事業	所 属 長	栗田 昌伸
		記 入 者	辻本 昭壽

＜1. 基本事項＞

総合計画の位置付け	区分	コード	名 称	根 拠 法令等	保育所等運営補助金交付要綱等
	方針	01	子どもから高齢者までが輝いて、魅力あふれるまちを創ります		
	政策	01	子どもの未来が輝くまちにします		
	施策	01	子育て環境の充実		
	視点	01	保育・幼児教育、児童クラブの「量」の確保と「質」の向上		
重事	01	保育人材確保総合対策事業			

関連事業	コード	事務事業名称	コード	所属名称

予算事業	会 計	枠	事業種別	予算事業名	始期・終期
	一般会計	政策	評価対象事業	民間保育施設運営助成事業費	

事業の概要
民間保育所等に対し、障害児保育補助など保育士の加配に要する経費など、運営費の一部を助成をすることで保育の充実を図っていく。

運営方法 直営 指定管理者 民間委託 出資団体委託 補助金交付 その他 ()

＜2. 事業分析＞ PLAN

目的 (何のために)	民間保育所等の保育の充実、公民格差の是正、特別保育事業の実施
対象 (何又は誰を)	児童福祉法に基づく認可を受けた民間保育所等
手段 (どのようなやり方で)	保育所等が実施する各事業の経費を補助
成果 (どのような状態にするのか)	民間保育所等の保育の充実が図られ、もって児童福祉の増進を図る。

＜3. 経費＞ DO

		平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	備 考
		決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	予算額(千円)	見込額(千円)	
直接経費 A		1,105,533	1,176,828	1,381,219	0	1,574,924	
人件費 B		14,550	14,592	18,015	0	21,762	
事業費合計 A+B		1,120,083	1,191,420	1,399,234	0	1,596,686	
事業費の内訳	国	68,334	89,742	192,451	0	114,459	
	県	56,377	54,701	85,350	0	143,872	
	起債	0	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	0	
	一般財源	995,372	1,046,977	1,121,433	0	1,338,355	
職員数(人)		2.85	2.85	3.25	0.00	3.00	
職員数の内訳	正規	1.45	1.45	1.85	0.00	2.40	
	嘱託	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	臨時	1.40	1.40	1.40	0.00	0.60	

＜4. 指標＞ DO

	指 標 名	単 位	目標・実績	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
活動指標	1 年度当初入所定員数	人	目標	5,810	5,960	6,392	6,852	7,087
			実績	5,780	5,960	6,392	-	-
	民間保育施設の入所定員数(4月1日現在)							
	2		目標					
成果指標	1 障害児受入園数	園	目標	51	52	53	54	55
			実績	51	51	56	-	-
	障害児保育を実施している民間保育園数							
	2 年度当初入所児童数	人	目標	5,810	5,960	6,392	6,852	7,087
		実績	6,116	6,314	6,459	-	-	
民間保育施設の入所児童数(4月1日現在)								

令和 2年度 事務事業評価シート

[令和元年度事後評価]

整理番号	117		
部 局 名	福祉子ども部	所 属 名	保育幼稚園課
事務事業名	00049 民間保育所施設整備費補助事業	所 属 長	栗田 昌伸
		記 入 者	辻本 昭壽

＜1. 基本事項＞

総合計画の位置付け	区分	コード	名 称	根 拠 法令等	児童福祉法、天津市保育所等整備事業費補助金交付要綱
	方針	01	子どもから高齢者までが輝いて、魅力あふれるまちを創ります	関連する個別計画	天津市子ども・若者支援計画
	政策	01	子どもの未来が輝くまちにします		
	施策	01	子育て環境の充実		
	視点	01	保育・幼児教育、児童クラブの「量」の確保と「質」の向上		
重要	02	保育施設の整備促進			
関連事業	コード	事務事業名称		コード	所属名称
予算事業	会計	枠	事業種別	予算事業名	始期・終期
	一般会計	政策	評価対象事業	民間保育施設整備事業費補助金	
事業の概要	待機児童の解消を図るため、民間保育所の新設を推進する。また、老朽化し狭隘な民間保育所については、待機児童の解消、並びに子どもにとって安全な環境を確保するため、増改築の推進を図る。				
運営方法	<input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 指定管理者 <input type="checkbox"/> 民間委託 <input type="checkbox"/> 出資団体委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ()				

＜2. 事業分析＞ PLAN

目的 (何のために)	待機児童の解消、並びに子どもの安全な環境を確保する。
対象 (何又は誰を)	施設整備を行う保育所の設置者である社会福祉法人等。
手段 (どのようなやり方で)	補助金を交付し、施設の整備や用地の確保に伴う経済的負担の軽減を図る。
成果 (どのような状態にするのか)	保育所の施設整備が図られて、保育施設が充実する。

＜3. 経費＞ DO

		平成29年度 決算額(千円)	平成30年度 決算額(千円)	令和元年度 決算額(千円)	令和2年度 予算額(千円)	令和3年度 見込額(千円)	備 考
直接経費 A		656,414	1,358,891	1,616,181	208,226	32,965	
人件費 B		18,860	26,746	25,505	9,130	4,980	
事業費合計 A+B		675,274	1,385,637	1,641,686	217,356	37,945	
事業費の財源内訳	国	626,407	1,046,551	1,250,859	147,504	0	
	県	0	0	0	0	0	
	起債	0	0	229,200	20,300	0	
	その他	0	0	0	0	0	
	一般財源	48,867	339,086	161,627	49,552	37,945	
職員数(人)		2.30	3.30	3.15	1.10	0.60	
職員数の内訳	正規	2.30	3.25	3.05	1.10	0.60	
	嘱託	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	臨時	0.00	0.05	0.10	0.00	0.00	

＜4. 指標＞ DO

		指 標 名	単 位	目標・実績	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	
活動指標	1	保育所新設箇所数	箇所	目標	6	7	8	3	0	
				実績	3	6	6	-	-	
	国・県および市の補助により新設した保育所数									
	2	老朽化改善のための保育所増改築箇所数	箇所	目標	0	2	2	1	0	
実績				0	2	2	-	-		
国・県および市の補助により増改築した保育所数										
成果指標	1	保育所の定員増数	人	目標	390	492	716	235	0	
				実績	180	601	551	-	-	
	施設整備(新築・増改築)により定員増を図った数									
	2				目標					
実績										

令和 2年度 事務事業評価シート

[令和元年度事後評価]

整理番号	118				
部 局 名	福祉子ども部	所 属 名	保育幼稚園課	所 属 長	栗田 昌伸
事務事業名	02405 病児・病後児保育事業		記 入 者	辻本 昭壽	

< 1. 基本事項 >

総合計画の位置付け	区分	コード	名 称	根 拠 法令等	児童福祉法
	方針	01	子どもから高齢者までが輝いて、魅力あふれるまちを創ります		
	政策	01	子どもの未来が輝くまちにします	関連する個別計画	大津市子ども・若者支援計画
	施策	01	子育て環境の充実		
	視点	01	保育・幼児教育、児童クラブの「量」の確保と「質」の向上		
重事	03	多様な保育サービスの充実			

関連事業	コード	事務事業名称	コード	所属名称

予算事業	会計	枠	事業種別	予算事業名	始期・終期
	一般会計	政策	評価対象事業	病児保育事業費	平成25年度 ~

事業の概要	国庫補助金を活用して、病児・病後児保育の実施経費を民間施設に補助する。
-------	-------------------------------------

運営方法	<input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 指定管理者 <input type="checkbox"/> 民間委託 <input type="checkbox"/> 出資団体委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ()
------	---

< 2. 事業分析 > PLAN

目的 (何のために)	多様化する保育ニーズに対応するために
対象 (何又は誰を)	民間施設に対して
手段 (どのようなやり方で)	補助金を交付し
成果 (どのような状態にするのか)	多くの方に病児・病後児保育を利用できる状態にする。

< 3. 経費 > DO

		平成29年度 決算額(千円)	平成30年度 決算額(千円)	令和元年度 決算額(千円)	令和 2年度 予算額(千円)	令和 3年度 見込額(千円)	備 考
直接経費 A		41,196	78,931	62,815	63,189	63,189	
人件費 B		1,230	1,230	1,660	1,660	1,660	
事業費合計 A+B		42,426	80,161	64,475	64,849	64,849	
事業費の内訳	国	17,097	26,851	23,093	21,046	21,046	
	県	13,725	25,094	20,343	21,046	21,046	
	起債	0	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	0	
	一般財源	11,604	28,216	21,039	22,757	22,757	
職員数(人)		0.15	0.15	0.20	0.20	0.20	
職員数の内訳	正規	0.15	0.15	0.20	0.20	0.20	
	嘱託	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	臨時	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

< 4. 指標 > DO

		指 標 名	単 位	目標・実績	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和 2年度	令和 3年度
活動指標	1	病児・病後児保育実施施設数	箇所	目標	4	6	6	6	6
				実績	4	6	6	-	-
年度末現在									
成果指標	1	病児・病後児保育延利用者数	人	目標	1,129	1,842	2,348	2,242	2,242
				実績	1,494	2,303	2,225	-	-
当該年度における利用者数									
2				目標					
				実績					

令和 2年度 事務事業評価シート

[令和元年度事後評価]

整理番号	119		
部 局 名	福祉子ども部	所 属 名	保育幼稚園課
事務事業名	02439 一時預かり事業	所 属 長	栗田 昌伸
		記 入 者	辻本 昭壽

< 1. 基本事項 >

総合計画の位置付け	区分	コード	名 称	根 拠 法令等	児童福祉法
	方針	01	子どもから高齢者までが輝いて、魅力あふれるまちを創ります	関連する個別計画	大津市子ども・若者支援計画
	政策	01	子どもの未来が輝くまちにします		
	施策	01	子育て環境の充実		
	視点	01	保育・幼児教育、児童クラブの「量」の確保と「質」の向上		
重事	03	多様な保育サービスの充実			

関連事業	コード	事務事業名称	コード	所属名称

予算事業	会 計	枠	事業種別	予算事業名	始 期 ・ 終 期
	一般会計	政策	評価対象事業	一時預かり事業費	

事業の概要
 国等の補助制度を活用し、一時預かり事業を実施する民間保育所等に対して経費の一部を補助する。

運営方法 直営 指定管理者 民間委託 出資団体委託 補助金交付 その他 ()

< 2. 事業分析 > PLAN

目的 (何のために)	多様な保育ニーズに対応するために
対象 (何又は誰を)	一時預かり事業を実施する民間保育所に対し
手段 (どのようなやり方で)	国等の補助制度を活用して経費の一部を補助することによって
成果 (どのような状態にするのか)	一時預かり事業の実施を促進し、多くの方が一時預かり事業を利用できる状態にする。

< 3. 経費 > DO

		平成29年度 決算額(千円)	平成30年度 決算額(千円)	令和元年度 決算額(千円)	令和 2年度 予算額(千円)	令和 3年度 見込額(千円)	備 考
直接経費 A		92,368	93,552	103,492	95,201	126,293	
人件費 B		410	410	415	415	415	
事業費合計 A+B		92,778	93,962	103,907	95,616	126,708	
事業費の内訳	国	36,901	50,700	51,527	31,733	42,097	
	県	36,743	28,824	27,205	31,733	42,097	
	起債	0	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	0	
	一般財源	19,134	14,438	25,175	32,150	42,514	
職員数(人)		0.05	0.05	0.05	0.05	0.05	
職員数の内訳	正規	0.05	0.05	0.05	0.05	0.05	
	嘱託	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	臨時	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

< 4. 指標 > DO

		指 標 名	単 位	目標・実績	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和 2年度	令和 3年度
活動指標	1	一時預かり事業実施施設数	箇所	目標	36	40	35	34	34
				実績	38	33	34	-	-
年度末現在									
成果指標	1	一時預かり事業延べ利用人数	人	目標	34,000	39,000	36,000	30,000	30,000
				実績	37,575	34,634	30,354	-	-
年度末現在									
2				目標					
				実績					

令和 2年度 事務事業評価シート

[令和元年度事後評価]

整理番号	138		
部 局 名	福祉子ども部	所 属 名	児童クラブ課
事務事業名	00041 放課後児童健全育成事業	所 属 長	飯田 慎一
		記 入 者	白井 崇

＜1. 基本事項＞

総合計画の位置付け	区分	コード	名 称	根 拠 法令等	児童福祉法、 大津市立児童クラブ条例
	方針	01	子どもから高齢者までが輝いて、魅力あふれるまちを創ります		第2次大津市次世代育成 支援行動計画
	政策	01	子どもの未来が輝くまちにします		
	施策	01	子育て環境の充実		
	視点	01	保育・幼児教育、児童クラブの「量」の確保と「質」の向上		
重事	04	児童クラブの充実事業			
関連事業	コード	事務事業名称		コード	所属名称
予算事業	会計	枠	事業種別	予算事業名	始期・終期
	一般会計	政策	評価対象事業	放課後児童健全育成事業費	
事業の概要	仕事やその他の理由から、放課後、家庭で保育を受けることが困難な小学校児童の健全育成を図るため、市内53か所（うち民間16か所）に児童クラブを開設している。 平成13年4月に従前の学童保育所を公営化したもので、近年、子どもの数は減少しているものの、共働き家庭や核家族化の増加等から、児童クラブを希望する児童は急激に増加している。				
運営方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 指定管理者 <input type="checkbox"/> 民間委託 <input type="checkbox"/> 出資団体委託 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他（ ）				

＜2. 事業分析＞ PLAN

目的 (何のために)	放課後、家庭において保育を受けることが困難な小学校児童の健全育成を図り、就労と子育ての両面を支援するため
対象 (何又は誰を)	就労等により保護者が昼間家庭にいない児童を
手段 (どのようなやり方で)	安全と衛生に配慮した施設管理を進め、児童の健全育成を図るために適切な遊び及び生活の場を与えることで
成果 (どのような状態にするのか)	児童の放課後の生活を充実させ、保護者が安心して就労等ができる。

＜3. 経費＞ DO

		平成29年度 決算額(千円)	平成30年度 決算額(千円)	令和元年度 決算額(千円)	令和2年度 予算額(千円)	令和3年度 見込額(千円)	備 考
直接経費 A		140,525	196,532	162,017	163,264	163,264	
人件費 B		36,920	37,020	33,180	33,985	33,985	
事業費合計 A+B		177,445	233,552	195,197	197,249	197,249	
事業費の内訳	国	0	0	0	22,997	22,997	
	県	0	0	0	22,997	22,997	
	起債	0	0	0	0	0	
	その他	83,809	84,971	82,329	94,273	94,273	
	一般財源	93,636	148,581	112,868	56,982	56,982	
職員数(人)		7.30	7.30	6.80	6.30	6.30	
職員数の内訳	正規	3.30	3.30	2.80	2.80	2.80	
	嘱託	2.00	2.00	2.00	0.00	0.00	
	臨時	2.00	2.00	2.00	3.50	3.50	

＜4. 指標＞ DO

		指 標 名	単 位	目標・実績	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	
活動指標	1	公立の入所児童数	人	目標	3,015	3,205	3,335	3,335	3,335	
				実績	3,100	3,205	3,291	-	-	
	4月1日現在の入所児童数									
	2	公立の施設数	箇所	目標	37	37	37	37	0	
実績				37	37	37	-	-		
4月1日現在の児童クラブ数										
成果指標	1	公立の入所率	率	目標	100	100	100	100	100	
				実績	100	100	100	-	-	
	随時入所受付及び決定									
	2				目標					
実績										

<5. 評価> CHECK

事業を取りまく社会環境の状況	今日、天津市全体の小学生の数は減少しているが、保育所等の整備が進む中、児童クラブの利用ニーズが確実に増加している。また、ここ数年、夏休み等学校休業日の入所児童数が著しく増加している。	
これまでの見直しや改善等の経過	公立児童クラブは児童数の増加から狭あい化が進んでおり、平成23年度以降民間児童クラブの参入促進を図っている。令和元年度には下阪本小学校体育館の一部を改修して児童クラブに転用し、狭あい化の解消を図った。	
項目別評価	評価	評価理由
妥当性 (実施主体又は手段は妥当か)	<input checked="" type="checkbox"/> A. 妥当である <input type="checkbox"/> B. ほぼ妥当である <input type="checkbox"/> C. あまり妥当ではない <input type="checkbox"/> D. 妥当ではない	各小学校と密接な連携を持ち、児童の健全育成を図るためには公設公営での運営が妥当である。
有効性 (事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか)	<input checked="" type="checkbox"/> A. 上がっている <input type="checkbox"/> B. やや上がっている <input type="checkbox"/> C. あまり上がっていない <input type="checkbox"/> D. 上がっていない	入所資格の要件を満たす全ての児童を受け入れており、待機児童を出していないことから有効である。
効率性 (事業手法は効率的であるか。)	<input checked="" type="checkbox"/> A. 高い <input type="checkbox"/> B. やや高い <input type="checkbox"/> C. やや低い <input type="checkbox"/> D. 低い	児童クラブの運営は嘱託職員及び臨時職員で行っており、コスト低減に努めている。
総合評価	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 計画どおり事業を進めることが適当 <input type="checkbox"/> 2. 事業の進め方に改善が必要 <input type="checkbox"/> 3. 事業規模や見直しが必要 <input type="checkbox"/> 4. 事業の抜本的見直しや廃止が必要	

施策への貢献度	<input checked="" type="checkbox"/> A. 貢献している <input type="checkbox"/> B. やや貢献している <input type="checkbox"/> C. あまり貢献していない <input type="checkbox"/> D. 貢献していない	保護者が労働等により家庭で保育を受けることが困難な就学児童の健全育成に資するとともに、保護者の就労と子育ての両面を支援しており施策に貢献している。
---------	--	---

<6. 今後の方向性> ACTION

方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 2. 見直しの上で継続 (<input type="checkbox"/> 2-1. 拡充・重点化 <input type="checkbox"/> 2-2. 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-3. 効率化 <input type="checkbox"/> 2-4. 簡素化・縮小 <input type="checkbox"/> 2-5. 統合 <input type="checkbox"/> 2-6. その他) <input type="checkbox"/> 3. 終期の設定 <input type="checkbox"/> 4. 終了 () <input type="checkbox"/> 5. 休止 <input type="checkbox"/> 6. 廃止	放課後児童健全育成事業の更なる充実を図るため、施設の狭あい化解消に努めるとともに、業務内容の見直しや事務改善等効率化を図っていく。
部局長コメント	今後ますます児童クラブの需要が見込まれるため、保育の充実を図り、事業を推進していく。	

<7. 評価分析> ※成果増減率、コスト増減率は対前年度比

区分		平成29年度	平成30年度	令和元年度
目標達成率	指標1	100.00 %	100.00 %	100.00 %
	指標2	- %	- %	- %
成果増減率	指標1	- %	±0.00 %	±0.00 %
	指標2	- %	%	%
活動単位コスト	指標1	57 千円	72 千円	59 千円
	指標2	- 千円	- 千円	- 千円
成果単位コスト	指標1	1,774 千円	2,335 千円	1,951 千円
	指標2	- 千円	- 千円	- 千円
コスト増減率		- %	+31.61 %	-16.42 %

令和 2年度 事務事業評価シート

[令和元年度事後評価]

整理番号	139	部 局 名	福祉子ども部	所 属 名	児童クラブ課	所 属 長	飯田 慎一
事務事業名	02616 民間児童クラブ運営助成事業	記 入 者	白井 崇				

＜1. 基本事項＞

総合計画の位置付け	区分	コード	名 称	根 拠 法令等	児童福祉法、天津市児童福祉法に基づく放課後健全育成事業基準条例
	方針	01	子どもから高齢者までが輝いて、魅力あふれるまちを創ります		第2次天津市次世代育成支援行動計画
	政策	01	子どもの未来が輝くまちにします		
	施策	01	子育て環境の充実		
	視点	01	保育・幼児教育、児童クラブの「量」の確保と「質」の向上		
重事	04	児童クラブの充実事業			

関連事業	コード	事 務 事 業 名 称	コード	所 属 名 称

予算事業	会 計	枠	事 業 種 別	予 算 事 業 名	始 期 ・ 終 期
	一般会計	政策	評価対象事業	民間児童クラブ運営助成事業費	

事業の概要
 急激な児童数の増加に伴う公立児童クラブの狭あい化を解消し、保護者の保育ニーズに応える選択肢を増やすため、民間児童クラブの参入を促進する。

運営方法 直営 指定管理者 民間委託 出資団体委託 補助金交付 その他 ()

＜2. 事業分析＞ PLAN

目的 (何のために)	児童クラブ通所児童数の急激な増加による公立児童クラブの狭あい化を解消するため
対象 (何又は誰を)	社会福祉法人をはじめとする民間事業者に対して
手段 (どのようなやり方で)	運営に対する補助に加えて、土地建物の賃借料や送迎バスの購入費等に対する市独自の補助を交付することで
成果 (どのような状態にするのか)	民間児童クラブの参入を促進するとともに保育環境の充実を図る。

＜3. 経費＞ DO

		平成29年度 決算額(千円)	平成30年度 決算額(千円)	令和元年度 決算額(千円)	令和2年度 予算額(千円)	令和3年度 見込額(千円)	備 考
直接経費 A		93,942	81,378	182,933	143,395	143,395	
人件費 B		3,280	5,740	8,300	8,300	8,300	
事業費合計 A+B		97,222	87,118	191,233	151,695	151,695	
事業費の内訳	国	29,220	25,109	56,707	40,481	40,481	
	県	29,220	25,109	56,707	40,481	40,481	
	起債	0	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	0	
	一般財源	38,782	36,900	77,819	70,733	70,733	
職員数(人)		0.40	0.70	1.00	1.00	1.00	
職員数の内訳	正規	0.40	0.70	1.00	1.00	1.00	
	嘱託	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	臨時	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

＜4. 指標＞ DO

		指 標 名	単 位	目標・実績	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
活動指標	1	民間児童クラブ数	箇所	目標	9	16	18	20	22
				実績	9	13	16	-	-
	4月1日現在の民間児童クラブ数								
	2			目標					
			実績						
成果指標	1	入所の割合	%	目標	8	12	14	15	16
				実績	8.1	11	13.3	-	-
	4月1日現在の全体の登録児童数のうち民間児童クラブの登録児童数の割合								
	2			目標					
			実績						

令和 2年度 事務事業評価シート

[令和元年度事後評価]

整理番号	109		
部 局 名	福祉子ども部	所 属 名	幼児政策課
事務事業名	00017 幼稚園子育て支援事業	所 属 長	乾 一彦
		記 入 者	堀井 久美子

< 1. 基本事項 >

総合計画の位置付け	区分	コード	名 称	根 拠 法令等	学校教育法24条・幼稚園教育要領
	方針	01	子どもから高齢者までが輝いて、魅力あふれるまちを創ります		
	政策	01	子どもの未来が輝くまちにします	関連する個別計画	大津市次世代育成支援行動計画、大津市教育振興基本計画
	施策	01	子育て環境の充実		
	視点	02	市立幼稚園3年保育の実施等、幼児教育の充実と集団規模の適正化		
重事	01	幼児教育の充実			

関連事業	コード	事務事業名称	コード	所属名称

予算事業	会計	枠	事業種別	予算事業名	始期・終期
	一般会計	政策	評価対象事業	幼稚園子育て支援事業費	

事業の概要
 幼稚園が、地域や家庭の実情に応じながら、子育て支援機能を活用して「親と子の育ちの場」としての役割や機能を充実し、家庭や地域の教育力を支える。
 主な事業・〇一時預かり事業・親子の絆を深める子育て支援事業・未就園（0～3歳児）親子通園・子育て講座・子育て相談・園庭園舎開放

運営方法 直営 指定管理者 民間委託 出資団体委託 補助金交付 その他 ()

< 2. 事業分析 > PLAN

目的 (何のために)	地域における子育てでの孤立化解消及び家庭の教育方向上を図るため
対象 (何又は誰を)	市内各地域の未就園親子ならびに幼稚園在園親子を対象として
手段 (どのようなやり方で)	未就園親子通園、園庭園舎開放、遊具用具絵本等の貸し出し、子育て相談、子育て講座、在園児預かり保育、子育て情報の提供等の子育て支援施策により
成果 (どのような状態にするのか)	幼児の心身の発達の助長と保護者の子育てに対する喜びや充足感、幼児の育ちに対する理解等を一層推進する。

< 3. 経費 > DO

		平成29年度 決算額(千円)	平成30年度 決算額(千円)	令和元年度 決算額(千円)	令和2年度 予算額(千円)	令和3年度 見込額(千円)	備 考
直接経費	A	20,864	7,181	12,778	769	2,910	R2から子育て支援員(報償費)
人件費	B	5,718	5,719	5,788	5,871	5,871	→会計年度任用職員へ
事業費合計 A+B		26,582	12,900	18,566	6,640	8,781	R2は今後対応
事業費の財源内訳	国	25,765	12,900	8,061	0	5,854	R2は今後対応
	県	817	0	4,030	0	2,927	
	起債	0	0	0	0	0	
	その他	0	0	149	194	0	
	一般財源	0	0	6,326	6,446	0	H3 1補助金償還6,325千円
職員数(人)		0.71	0.71	0.71	0.72	0.72	
職員数の内訳	正規	0.69	0.69	0.69	0.70	0.70	
	嘱託	0.02	0.02	0.02	0.00	0.00	
	臨時	0.00	0.00	0.00	0.02	0.02	

< 4. 指標 > DO

		指 標 名	単 位	目標・実績	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	
活動指標	1	未就園親子通園等の実施回数	回	目標	3,200	3,200	3,200	3,200	3,200	
				実績	3,375	3,200	3,724	-	-	
	市立幼稚園32園における親子通園事業と子育て講座の延べ回数									
	2	在園児預かり保育の実施回数	回	目標	5,500	5,500	5,500	5,500	5,500	
実績				5,107	5,261	6,754	-	-		
平成22年度からの開始事業・市立幼稚園32園の子育て支援預かり保育実施合計回数										
成果指標	1	未就園親子通園等の参加人数	人	目標	50,000	50,000	45,000	35,000	35,000	
				実績	55,335	45,407	37,340	-	-	
	市立幼稚園32園における親子通園事業と子育て講座の延べ参加人数									
	2	在園児預かり保育利用人数	人	目標	70,000	70,000	70,000	70,000	70,000	
実績				66,747	64,985	78,792	-	-		
市立幼稚園32園子育て支援預かり保育利用人数										

令和 2年度 事務事業評価シート

[令和元年度事後評価]

整理番号	110		
部 局 名	福祉子ども部	所 属 名	幼児政策課
事務事業名	03332 市立幼稚園3年保育推進事業	所 属 長	乾 一彦
		記 入 者	一與 浩士

＜1. 基本事項＞

総合計画の位置付け	区分	コード	名 称	根 拠 法令等	学校教育法 子ども・子育て支援法
	方針	01	子どもから高齢者までが輝いて、魅力あふれるまちを創ります	関連する個別計画	子ども・子育て支援事業計画・3年保育実施の年次計画
	政策	01	子どもの未来が輝くまちにします		
	施策	01	子育て環境の充実		
	視点	02	市立幼稚園3年保育の実施等、幼児教育の充実と集団規模の適正化		
重事	01	幼児教育の充実			
関連事業	コード	事務事業名称		コード	所属名称
	00175	幼稚園管理運営事業		1447	幼児政策課
予算事業	会計	枠	事業種別	予算事業名	始期・終期
	一般会計	政策	評価対象事業	市立幼稚園3年保育推進事業費	
事業の概要	大津市立幼稚園における3年保育実施の年次計画に基づき、全ての市立幼稚園で3年保育を実施する。				
運営方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 指定管理者 <input type="checkbox"/> 民間委託 <input type="checkbox"/> 出資団体委託 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ()				

＜2. 事業分析＞ PLAN

目的 (何のために)	子ども・子育て支援新制度に基づき、3歳以上の全ての子どもに質の高い教育・保育を提供するために
対象 (何又は誰を)	3歳以上の1号認定子どものうち、市立幼稚園に入園希望する子どもに
手段 (どのようなやり方で)	3歳児の年齢にあった幼児教育の環境整備を行い
成果 (どのような状態にするのか)	地域の実態に応じた創意工夫を凝らした質の高い幼児教育を提供する。

＜3. 経費＞ DO

		平成29年度 決算額(千円)	平成30年度 決算額(千円)	令和元年度 決算額(千円)	令和2年度 予算額(千円)	令和3年度 見込額(千円)	備 考
直接経費 A		5,105	7,731	9,508	0	0	令和2年より各事業に統合
人件費 B		3,772	3,772	4,648	0	0	
事業費合計 A+B		8,877	11,503	14,156	0	0	
事業費の内訳	国	0	0	0	0	0	
	県	0	0	0	0	0	
	起債	0	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	0	
	一般財源	8,877	11,503	14,156	0	0	
職員数(人)		0.46	0.46	0.56	0.00	0.00	
職員数の内訳	正規	0.46	0.46	0.56	0.00	0.00	
	嘱託	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	臨時	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

＜4. 指標＞ DO

		指 標 名	単 位	目標・実績	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
活動指標	1	3年保育実施園	園	目標	9	8	8	0	0
				実績	9	8	8	-	-
	2	3年保育を実施した園		目標					
				実績					
成果指標	1	園児数のうち3歳児	人	目標	130	300	550	0	0
				実績	145	343	550	-	-
	2	3年保育の利用者数		目標					
				実績					

令和 2年度 事務事業評価シート

[令和元年度事後評価]

整理番号	111		
部 局 名	福祉子ども部	所 属 名	幼児政策課
事務事業名	02423 子ども・子育て支援事業（幼児政策課）	所 属 長	乾 一彦
		記 入 者	一與 浩士

＜1. 基本事項＞

総合計画の位置付け	区分	コード	名 称	根 拠 法令等	子ども・子育て支援法
	方針	01	子どもから高齢者までが輝いて、魅力あふれるまちを創ります	関連する 個別計画	子ども・子育て支援事業 計画
	政策	01	子どもの未来が輝くまちにします		
	施策	01	子育て環境の充実		
	視点	02	市立幼稚園3年保育の実施等、幼児教育の充実と集団規模の適正化		
重事	02	質の高い乳幼児期の教育・保育の推進事業			
関連事業	コード	事務事業名称		コード	所属名称
予算事業	会計	枠	事業種別	予算事業名	始期・終期
	一般会計	政策	評価対象事業	子ども・子育て支援事業費	
事業の概要	①次世代を担う子ども・子育てを社会全体で支援するための施策の検討（多様な方策による保育所待機児童の解消や地域における子育て支援機能の充実） ②子育て家庭をとりまく社会での家庭支援意識の醸成を図る。 ③子ども・子育て支援事業計画の施策を推進する。				
運営方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 指定管理者 <input checked="" type="checkbox"/> 民間委託 <input type="checkbox"/> 出資団体委託 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他（ ）				

＜2. 事業分析＞ PLAN

目的 (何のために)	子ども・子育て支援の充実を図るために
対象 (何又は誰を)	子育て世代を対象として
手段 (どのようなやり方で)	子ども・子育て支援事業計画に基づく施策を展開し
成果 (どのような状態にするのか)	幼児期の教育・保育、地域子育て支援事業の質の向上と量の拡充が図られる

＜3. 経費＞ DO

		平成29年度 決算額(千円)	平成30年度 決算額(千円)	令和元年度 決算額(千円)	令和2年度 予算額(千円)	令和3年度 見込額(千円)	備 考
直接経費 A		1,818	17,524	11,576	67,636	7,291	R2:キッズゾーン繰60345
人件費 B		12,080	12,083	13,055	13,475	13,475	
事業費合計 A+B		13,898	29,607	24,631	81,111	20,766	
事業費 の財源 内 訳	国	0	0	1,374	2,728	2,728	
	県	0	0	0	0	0	
	起債	0	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	0	
	一般財源	13,898	29,607	23,257	78,383	18,038	
職員数(人)		1.55	1.55	1.65	1.80	1.80	
職員数 の内訳	正 規	1.45	1.45	1.55	1.52	1.52	
	嘱 託	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	臨 時	0.10	0.10	0.10	0.28	0.28	

＜4. 指標＞ DO

		指 標 名	単 位	目標・実績	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	
活動指標	1	子ども・子育て会議の開催	回	目標	3	4	4	3	3	
				実績	3	3	5	-	-	
	子ども・子育て支援事業計画の意見聴取、進捗管理を行う会議の開催回数									
	2			目標						
		実績								
成果指標	1	各年度の教育・保育、地域子育て支援事業の確保方策の確保割合	%	目標	100	100	100	100	100	
				実績	100	100	100	-	-	
	事業計画の年度末の教育・保育、地域子育て支援事業の総確保割合									
	2			目標						
		実績								

<5. 評価> CHECK

事業を取りまく社会環境の状況	子ども・子育て支援事業計画に基づく教育・保育の確保、保育人材の確保はますます重要となり、少子化社会対策と相まって日本社会の最重要課題となっている。	
これまでの見直しや改善等の経過	子ども・子育て支援事業計画の次期計画（令和2年度～）は、子どもが生まれる前から自立するまでを対象とした「大津市子ども・若者支援計画」に統合することから、その計画の趣旨・背景を踏まえた取り組みを行う。	
項目別評価	評価	評価理由
妥当性 (実施主体又は手段は妥当か)	<input checked="" type="checkbox"/> A. 妥当である <input type="checkbox"/> B. ほぼ妥当である <input type="checkbox"/> C. あまり妥当ではない <input type="checkbox"/> D. 妥当ではない	法定計画である子ども・子育て支援事業計画に基づく事業であり、今後の本市の子育て支援周辺施策を進める上で根幹となる事業として、その妥当性は非常に高い。
有効性 (事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか)	<input checked="" type="checkbox"/> A. 上がっている <input type="checkbox"/> B. やや上がっている <input type="checkbox"/> C. あまり上がっていない <input type="checkbox"/> D. 上がっていない	子ども・子育て支援施策の根幹となる「量の確保」と「質の向上」を計画的に進める事業であり、その有効性は非常に高い。
効率性 (事業手法は効率的であるか。)	<input checked="" type="checkbox"/> A. 高い <input type="checkbox"/> B. やや高い <input type="checkbox"/> C. やや低い <input type="checkbox"/> D. 低い	市民ニーズと各種データをはじめとする現状を詳細に分析し策定した計画に基づいて事業実施するため、費用対効果は高く、その効率性は高い。
総合評価	<input type="checkbox"/> 1. 計画どおり事業を進めることが適当 <input checked="" type="checkbox"/> 2. 事業の進め方に改善が必要 <input type="checkbox"/> 3. 事業規模や見直しが必要 <input type="checkbox"/> 4. 事業の抜本的見直しや廃止が必要	

施策への貢献度	<input checked="" type="checkbox"/> A. 貢献している <input type="checkbox"/> B. やや貢献している <input type="checkbox"/> C. あまり貢献していない <input type="checkbox"/> D. 貢献していない	総合計画や総合戦略で重要施策と位置づけられている子ども・子育て支援に係る根幹事業であり、施策への貢献度は非常に高い。
---------	--	--

<6. 今後の方向性> ACTION

方向性	<input type="checkbox"/> 1. 現状のまま継続 <input checked="" type="checkbox"/> 2. 見直しの上で継続 (<input checked="" type="checkbox"/> 2-1. 拡充・重点化 <input type="checkbox"/> 2-2. 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-3. 効率化 <input type="checkbox"/> 2-4. 簡素化・縮小 <input type="checkbox"/> 2-5. 統合 <input type="checkbox"/> 2-6. その他) <input type="checkbox"/> 3. 終期の設定 <input type="checkbox"/> 4. 終了 () <input type="checkbox"/> 5. 休止 <input type="checkbox"/> 6. 廃止
部局長コメント	今年度から開始された「大津市子ども・若者支援計画」に基づき、諸施策を実施する。

<7. 評価分析> ※成果増減率、コスト増減率は対前年度比

区分	平成29年度	平成30年度	令和元年度
目標達成率	指標1	100.00 %	100.00 %
	指標2	- %	- %
成果増減率	指標1	- %	±0.00 %
	指標2	- %	±0.00 %
活動単位コスト	指標1	4,632 千円	9,869 千円
	指標2	- 千円	- 千円
成果単位コスト	指標1	138 千円	296 千円
	指標2	- 千円	- 千円
コスト増減率	- %	+113.03 %	-16.80 %

令和 2年度 事務事業評価シート

[令和元年度事後評価]

整理番号	112		
部 局 名	福祉子ども部	所 属 名	幼児政策課
事務事業名	00175 幼稚園管理運営事業	所 属 長	乾 一彦
		記 入 者	一與 浩士

< 1. 基本事項 >

総合計画の位置付け	区分	コード	名 称	根 拠 法令等	関連する個別計画 子ども・子育て支援事業計画
	方針	01	子どもから高齢者までが輝いて、魅力あふれるまちを創ります		
	政策	01	子どもの未来が輝くまちにします		
	施策	01	子育て環境の充実		
	視点	02	市立幼稚園3年保育の実施等、幼児教育の充実と集団規模の適正化		
重事	03	市立幼稚園の規模適正化			

関連事業	コード	事務事業名称	コード	所属名称
	03332	市立幼稚園3年保育推進事業	1447	幼児政策課

予算事業	会計	枠	事業種別	予算事業名	始期・終期
	一般会計	管理	評価対象事業	幼稚園管理運営費	

事業の概要
幼稚園3園の管理運営をはじめ、幼児教育活動に必要な教材や設備等の教育環境の充実を図る。

運営方法 直営 指定管理者 民間委託 出資団体委託 補助金交付 その他 ()

< 2. 事業分析 > PLAN

目的 (何のために)	各幼稚園の管理運営及び教育活動を円滑に行う。
対象 (何又は誰を)	園児・教職員
手段 (どのようなやり方で)	各幼稚園の地域の実態に応じ、工夫を凝らした教育環境整備に努める。
成果 (どのような状態にするのか)	幼児教育環境の整備・充実を図る。

< 3. 経費 > DO

		平成29年度 決算額(千円)	平成30年度 決算額(千円)	令和元年度 決算額(千円)	令和2年度 予算額(千円)	令和3年度 見込額(千円)	備 考
直接経費 A		94,822	101,722	105,135	127,924	127,924	R2～雄琴仰木通園バス(委託)
人件費 B		7,380	7,380	9,130	8,450	8,450	
事業費合計 A+B		102,202	109,102	114,265	136,374	136,374	
事業費の内訳	国	0	0	0	0	0	
	県	0	0	0	0	0	
	起債	0	0	0	0	0	
	その他	0	5,457	0	5,478	5,478	湖都大津まちづくり基金
	一般財源	102,202	103,645	114,265	130,896	130,896	
職員数(人)		0.90	0.90	1.10	1.10	1.10	
職員数の内訳	正規	0.90	0.90	1.10	0.97	0.97	
	嘱託	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	臨時	0.00	0.00	0.00	0.13	0.13	

< 4. 指標 > DO

		指 標 名	単 位	目標・実績	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	
活動指標	1	教材費 (消耗品+印刷製本費-図書)	千円	目標	11,254	11,292	11,200	11,200	11,200	
				実績	12,019	11,064	10,078	-	-	
	目標値:当初予算額 実績値:決算額 H26より事業の分割									
成果指標	1	園児1人当たりの教材費(4歳以上)	円	目標	4,953	5,000	5,500	5,500	5,500	
				実績	5,747	6,076	5,710	-	-	
	年間教材/園児数 H26より事業の分割									
	2				目標					
			実績							

<5. 評価> CHECK

事業を取りまく社会環境の状況	本市における幼稚園のニーズはいまだに高く、5歳児の約45%が1号認定であり、その7割が公立幼稚園を利用している。幼児教育の重要性はますます高まっており、教育環境の充実が求められている。	
これまでの見直しや改善等の経過	市立幼稚園の3年保育の全園実施、規模適正化計画の推進に加えて、幼児教育無償化の対応を行い、今後は財政負担と大津の教育環境の維持等を考慮しつつ、保育園も含めてあり方の検討を行う。	
項目別評価	評価	評価理由
妥当性 (実施主体又は手段は妥当か)	<input checked="" type="checkbox"/> A. 妥当である <input type="checkbox"/> B. ほぼ妥当である <input type="checkbox"/> C. あまり妥当ではない <input type="checkbox"/> D. 妥当ではない	幼児教育を行うにあたって、適切な教育環境を整え、子どもの最善の利益のために質の高い幼児教育の機会を提供していることから妥当性があるといえる。
有効性 (事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか)	<input checked="" type="checkbox"/> A. 上がっている <input type="checkbox"/> B. やや上がっている <input type="checkbox"/> C. あまり上がっていない <input type="checkbox"/> D. 上がっていない	本市における幼稚園のニーズは非常に高く、その中で公立幼稚園が果たす割合は高いことから、有効性のある事業である。
効率性 (事業手法は効率的であるか。)	<input type="checkbox"/> A. 高い <input checked="" type="checkbox"/> B. やや高い <input type="checkbox"/> C. やや低い <input type="checkbox"/> D. 低い	3年保育や規模適正化を同時に進めることで、経済効率性の改善が見られ、その中で教育に対する効率性についても常に高めている。
総合評価	<input type="checkbox"/> 1. 計画どおり事業を進めることが適当 <input checked="" type="checkbox"/> 2. 事業の進め方に改善が必要 <input type="checkbox"/> 3. 事業規模や見直しが必要 <input type="checkbox"/> 4. 事業の抜本的見直しや廃止が必要	

施策への貢献度	<input checked="" type="checkbox"/> A. 貢献している <input type="checkbox"/> B. やや貢献している <input type="checkbox"/> C. あまり貢献していない <input type="checkbox"/> D. 貢献していない	本市における幼稚園ニーズの受け皿としての存在、幼児教育の重要性を考慮すると、本市の子どもがかがやく未来実現のためには最重要事業であり、貢献度大といえる。
---------	--	--

<6. 今後の方向性> ACTION

方向性	<input type="checkbox"/> 1. 現状のまま継続 <input checked="" type="checkbox"/> 2. 見直しの上で継続 (<input checked="" type="checkbox"/> 2-1. 拡充・重点化 <input type="checkbox"/> 2-2. 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-3. 効率化 <input type="checkbox"/> 2-4. 簡素化・縮小 <input type="checkbox"/> 2-5. 統合 <input type="checkbox"/> 2-6. その他) <input type="checkbox"/> 3. 終期の設定 <input type="checkbox"/> 4. 終了 () <input type="checkbox"/> 5. 休止 <input type="checkbox"/> 6. 廃止	大津市立幼稚園が担ってきた質の高い幼児教育を継続するとともに、幼児教育の転換期に幼児教育の求められる役割について研究を進めていく必要がある。
部局長コメント	市立幼稚園の適正な管理運営に努めるとともに、規模適正化実施計画の再検討を行い、今後の園運営の方向性を決めていく。	

<7. 評価分析> ※成果増減率、コスト増減率は対前年度比

区分	平成29年度	平成30年度	令和元年度	
目標達成率	指標1	116.03 %	121.52 %	103.81 %
	指標2	- %	- %	- %
成果増減率	指標1	- %	+5.72 %	-6.02 %
	指標2	- %	%	%
活動単位コスト	指標1	8 千円	9 千円	11 千円
	指標2	- 千円	- 千円	- 千円
成果単位コスト	指標1	17 千円	17 千円	20 千円
	指標2	- 千円	- 千円	- 千円
コスト増減率	- %	+0.97 %	+11.44 %	

令和 2年度 事務事業評価シート

[令和元年度事後評価]

整理番号	113		
部 局 名	福祉子ども部	所 属 名	幼児政策課
事務事業名	02547 学校図書充実事業（幼児政策課）	所 属 長	乾 一彦
		記 入 者	一與 浩士

＜1. 基本事項＞

総合計画の位置付け	区分	コード	名 称	根 拠 法令等	子どもの読書活動の推進に関する法律
	方針	01	子どもから高齢者までが輝いて、魅力あふれるまちを創ります		大津市子ども読書活動推進計画（第3次）
	政策	01	子どもの未来が輝くまちにします		
	施策	01	子育て環境の充実		
	視点	02	市立幼稚園3年保育の実施等、幼児教育の充実と集団規模の適正化		
重事	99	その他			

関連事業	コード	事務事業名称	コード	所属名称
	00146	学校図書充実事業〔小・中学校〕	2402	学校教育課

予算事業	会 計	枠	事業種別	予算事業名	始 期 ・ 終 期
	一般会計	特定	評価対象事業	学校図書充実事業費〔幼稚園〕	

事業の概要
幼稚園児の読書活動を推進するため、幼稚園の蔵書の充実及び読書環境の整備に要する書架等の整備を図る。

運営方法 直営 指定管理者 民間委託 出資団体委託 補助金交付 その他（ ）

＜2. 事業分析＞ PLAN

目的 (何のために)	各幼稚園の蔵書の充実のために
対象 (何又は誰を)	各幼稚園に
手段 (どのようなやり方で)	園児用図書を購入し
成果 (どのような状態にするのか)	幼稚園児が図書に親しむ機会が増える。

＜3. 経費＞ DO

		平成29年度 決算額(千円)	平成30年度 決算額(千円)	令和元年度 決算額(千円)	令和2年度 予算額(千円)	令和3年度 見込額(千円)	備 考
直接経費 A		1,614	1,553	1,437	1,418	1,418	
人件費 B		82	82	83	83	83	
事業費合計 A+B		1,696	1,635	1,520	1,501	1,501	
事業費 の内訳	国	0	0	0	0	0	
	県	0	0	0	0	0	
	起債	0	0	0	0	0	
	その他	0	1,553	962	357	357	湖都大津まちづくり基金
	一般財源	1,696	82	558	1,144	1,144	
職員数(人)		0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	
職員数 の内訳	正規	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	
	嘱託	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	臨時	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

＜4. 指標＞ DO

		指 標 名	単 位	目標・実績	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
活動指標	1	図書購入数	冊	目標	1,000	1,000	900	850	850
		実績		1,019	941	902	-	-	
		各幼稚園の図書購入冊数							
2				目標					
				実績					
成果指標	1	平均図書購入数	冊	目標	20	20	20	20	20
		実績		31	30	29	-	-	
		購入冊数/33園 (H28から32園) (H30から31園) (R2から29園)							
2				目標					
				実績					

<5. 評価> CHECK

事業を取りまく社会環境の状況	第三次大津市子ども読書活動推進計画に基づき引き続き各幼稚園の蔵書整備を行う。		
これまでの見直しや改善等の経過	第三次大津市子ども読書活動推進計画に基づき引き続き各幼稚園の蔵書整備を行う。		
項目別評価	評価	評価理由	
妥当性 (実施主体又は手段は妥当か)	<input checked="" type="checkbox"/> A. 妥当である <input type="checkbox"/> B. ほぼ妥当である <input type="checkbox"/> C. あまり妥当ではない <input type="checkbox"/> D. 妥当ではない	幼児期の教育において、子ども達が多様な図書に触れることは、その図書を通して想像力を高め、子どもの感じる心を育てるため欠かせないものであり妥当性がある。	
有効性 (事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか)	<input checked="" type="checkbox"/> A. 上がっている <input type="checkbox"/> B. やや上がっている <input type="checkbox"/> C. あまり上がっていない <input type="checkbox"/> D. 上がっていない	様々な図書をそろえ、充実させることで、図書に触れる機会や多様な読書体験が出来ることから、幼児期の教育の質の向上と園児の発達面で非常に有効性がある。	
効率性 (事業手法は効率的であるか。)	<input checked="" type="checkbox"/> A. 高い <input type="checkbox"/> B. やや高い <input type="checkbox"/> C. やや低い <input type="checkbox"/> D. 低い	幼児期の図書との触れあいは子どもの確かな学習と生きる力を養う基盤につながることから、子どもの教育にとって非常に効率性のある方法である。	
総合評価	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 計画どおり事業を進めることが適当 <input type="checkbox"/> 2. 事業の進め方に改善が必要 <input type="checkbox"/> 3. 事業規模や見直しが必要 <input type="checkbox"/> 4. 事業の抜本的見直しや廃止が必要		

施策への貢献度	<input checked="" type="checkbox"/> A. 貢献している <input type="checkbox"/> B. やや貢献している <input type="checkbox"/> C. あまり貢献していない <input type="checkbox"/> D. 貢献していない	幼児期の図書との触れあいは、子どもの確かな学習と生きる力を養う基盤につながることから、子どもの読書週間のみならず、発達の側面からもその貢献度は非常に高い。
---------	--	---

<6. 今後の方向性> ACTION

方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 2. 見直しの上で継続 (<input type="checkbox"/> 2-1. 拡充・重点化 <input type="checkbox"/> 2-2. 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-3. 効率化 <input type="checkbox"/> 2-4. 簡素化・縮小 <input type="checkbox"/> 2-5. 統合 <input type="checkbox"/> 2-6. その他) <input type="checkbox"/> 3. 終期の設定 <input type="checkbox"/> 4. 終了 () <input type="checkbox"/> 5. 休止 <input type="checkbox"/> 6. 廃止	各幼稚園で蔵書管理やその時々によさわしい図書をしっかりと充実させ、子ども達が身近な場所で楽しみながら図書を選び、読み、触れ合う機会を提供することは、幼稚園教育要領に定められた言葉の獲得に関する領域を中心とした発達に非常に有効であり、そのための環境整備に努めることが重要である。
部局長コメント	幼児期は、生涯にわたる人間形成の基礎となる様々な体験を積む大切な時期であり、本と触れることは非常に重要であることから、保護者や子どものニーズに応じて、引き続き充実を図る。	

<7. 評価分析> ※成果増減率、コスト増減率は対前年度比

区分		平成29年度	平成30年度	令和元年度
目標達成率	指標1	155.00 %	150.00 %	145.00 %
	指標2	- %	- %	- %
成果増減率	指標1	- %	-3.22 %	-3.33 %
	指標2	- %	%	%
活動単位コスト	指標1	1 千円	1 千円	1 千円
	指標2	- 千円	- 千円	- 千円
成果単位コスト	指標1	54 千円	54 千円	52 千円
	指標2	- 千円	- 千円	- 千円
コスト増減率		- %	-0.38 %	-3.82 %

令和 2年度 事務事業評価シート

[令和元年度事後評価]

整理番号	114				
部 局 名	福祉子ども部	所 属 名	幼児政策課	所 属 長	乾 一彦
事務事業名	02620 県園長会等助成事業費	記 入 者	堀井 久美子		

< 1. 基本事項 >

総合計画の位置付け	区分	コード	名 称	根 拠 法令等	
	方針	01	子どもから高齢者までが輝いて、魅力あふれるまちを創ります		
	政策	01	子どもの未来が輝くまちにします	関 連 する 個別計画	
	施策	01	子育て環境の充実		
	視点	02	市立幼稚園3年保育の実施等、幼児教育の充実と集団規模の適正化		
重事	99	その他			
関連事業	コード	事務事業名称		コード	所属名称
予算事業	会計	枠	事業種別	予算事業名	始期・終期
	一般会計	管理	評価対象事業	県園長会等助成事業費	
事業の概要	県下の公立幼稚園長が各会組織の中で相互連携を図り、園運営の安定化と教育の振興・充実を図る。また、各会組織により行われる研修・研究活動に参加し、教育の充実発展に資する。				
運営方法	<input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 指定管理者 <input type="checkbox"/> 民間委託 <input type="checkbox"/> 出資団体委託 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input checked="" type="checkbox"/> その他（負担金）				

< 2. 事業分析 > PLAN

目的 (何のために)	教育の充実、発展のために
対象 (何又は誰を)	園長、教員等で組織する団体の
手段 (どのようなやり方で)	負担金を支払い
成果 (どのような状態にするのか)	県内各園との情報交換と、教育推進のための研究・研修の充実を図り、市教育行政の推進に寄与する。

< 3. 経費 > DO

		平成29年度 決算額(千円)	平成30年度 決算額(千円)	令和元年度 決算額(千円)	令和2年度 予算額(千円)	令和3年度 見込額(千円)	備 考
直接経費 A		324	314	312	292	292	平成27年度より幼児政策課 で実施
人件費 B		82	82	83	83	83	
事業費合計 A+B		406	396	395	375	375	
事業費 の内訳	国	0	0	0	0	0	
	県	0	0	0	0	0	
	起債	0	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	0	
	一般財源	406	396	395	375	375	
職員数(人)		0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	
職員数 の内訳	正規	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	
	嘱託	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	臨時	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

< 4. 指標 > DO

		指 標 名	単 位	目標・実績	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
活動指標	1	滋賀県幼稚園教育研究会、国公立幼稚園長会 研究会が開催された回数	回	目標	4	4	4	4	4
				実績	4	4	4	-	-
成果指標	1	全体研修会等の参加人数 滋賀県幼稚園教育研究会、国公立幼稚園長会の全体会、その他の公開研修会（平成27年度より）	人	目標	900	800	700	700	700
				実績	886	682	1,010	-	-
	2			目標					
				実績					

<5. 評価> CHECK

事業を取りまく社会環境の状況	幼稚園や教員に求められる社会的ニーズは複雑化かつ高度化しており、教育や教員の質が問われている。		
これまでの見直しや改善等の経過	包括外部監査からの指摘もあり、活動内容について実績を精査し、適正な執行に努める。		
項目別評価	評価	評価理由	
妥当性 (実施主体又は手段は妥当か)	<input checked="" type="checkbox"/> A. 妥当である <input type="checkbox"/> B. ほぼ妥当である <input type="checkbox"/> C. あまり妥当ではない <input type="checkbox"/> D. 妥当ではない	県内の園長間での連携や交流、研修会の開催などは幼児教育の質の向上に関わる活動を支えるために必要である。	
有効性 (事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか)	<input checked="" type="checkbox"/> A. 上がっている <input type="checkbox"/> B. やや上がっている <input type="checkbox"/> C. あまり上がっていない <input type="checkbox"/> D. 上がっていない	他都市の状況を把握でき、本市の幼児教育の推進に役立っている。	
効率性 (事業手法は効率的であるか。)	<input checked="" type="checkbox"/> A. 高い <input type="checkbox"/> B. やや高い <input type="checkbox"/> C. やや低い <input type="checkbox"/> D. 低い	負担金の支出で、各団体が効率的に事業を推進している。	
総合評価	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 計画どおり事業を進めることが適当 <input type="checkbox"/> 2. 事業の進め方に改善が必要 <input type="checkbox"/> 3. 事業規模の見直しが必要 <input type="checkbox"/> 4. 事業の抜本的見直しや廃止が必要		

施策への貢献度	<input checked="" type="checkbox"/> A. 貢献している <input type="checkbox"/> B. やや貢献している <input type="checkbox"/> C. あまり貢献していない <input type="checkbox"/> D. 貢献していない	各団体の事業実績が教育の振興と充実に寄与し、子どもの健やかな育成に貢献している。
---------	--	--

<6. 今後の方向性> ACTION

方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 2. 見直しの上で継続 (<input type="checkbox"/> 2-1. 拡充・重点化 <input type="checkbox"/> 2-2. 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-3. 効率化 <input type="checkbox"/> 2-4. 簡素化・縮小 <input type="checkbox"/> 2-5. 統合 <input type="checkbox"/> 2-6. その他) <input type="checkbox"/> 3. 終期の設定 <input type="checkbox"/> 4. 終了 () <input type="checkbox"/> 5. 休止 <input type="checkbox"/> 6. 廃止	各団体の事業実績が適正であることを確認し、今後も他都市との園長間の交流を図れるよう事業を継続していく。
部局長コメント	園長間の交流を通じて引き続き他都市の状況を把握し、事業の推進を図っていく。	

<7. 評価分析> ※成果増減率、コスト増減率は対前年度比

区分		平成29年度	平成30年度	令和元年度
目標達成率	指標1	98.44 %	85.25 %	144.28 %
	指標2	- %	- %	- %
成果増減率	指標1	- %	-23.02 %	+48.09 %
	指標2	- %	%	%
活動単位コスト	指標1	101 千円	99 千円	98 千円
	指標2	- 千円	- 千円	- 千円
成果単位コスト	指標1	0 千円	0 千円	0 千円
	指標2	- 千円	- 千円	- 千円
コスト増減率		- %	+26.71 %	-32.64 %

令和 2年度 事務事業評価シート

[令和元年度事後評価]

整理番号	115				
部 局 名	福祉子ども部	所 属 名	幼児政策課	所 属 長	乾 一彦
事務事業名	02621 学校支援総合推進事業〔幼稚園〕		記 入 者	堀井 久美子	

< 1. 基本事項 >

総合計画の位置付け	区分	コード	名 称	根 拠 法令等	大津市教育振興基本計画
	方針	01	子どもから高齢者までが輝いて、魅力あふれるまちを創ります		
	政策	01	子どもの未来が輝くまちにします		
	施策	01	子育て環境の充実		
	視点	02	市立幼稚園3年保育の実施等、幼児教育の充実と集団規模の適正化		
	重事	99	その他	関連する個別計画	

関連事業	コード	事務事業名称	コード	所属名称

予算事業	会計	枠	事業種別	予算事業名	始期・終期
	一般会計	政策	評価対象事業	学校支援総合推進事業費〔幼稚園〕	

事業の概要
各園において幼稚園協力者会議を組織し、幼稚園と地域・保護者がともに協力し合い子どもの育成にあたる。幼稚園運営支援の一方案として、外部人材活用を積極的に行い、子どもとのかかわりや保育環境への働きかけ、安全教育にかかわる取り組みや学校（幼稚園）評価を行う。

運営方法 直営 指定管理者 民間委託 出資団体委託 補助金交付 その他 ()

< 2. 事業分析 > PLAN

目的 (何のために)	幼稚園が家庭や地域社会との結びつきを深め、社会全体で子どもを見守る体制をつくるために
対象 (何又は誰を)	市立幼稚園を対象に
手段 (どのようなやり方で)	学校（幼稚園）協力者会議を組織・開催するとともに、地域人材の積極的活用の推進を図り
成果 (どのような状態にするのか)	大津市学校園経営の指針に掲げる多様性の尊重と一人一人を大切にした教育を推進し、地域や社会に開かれた園経営を目指す。

< 3. 経費 > DO

		平成29年度 決算額(千円)	平成30年度 決算額(千円)	令和元年度 決算額(千円)	令和2年度 予算額(千円)	令和3年度 見込額(千円)	備 考
直接経費 A		306	306	301	288	288	平成27年度より幼児政策課 で実施
人件費 B		1,123	1,125	1,137	1,137	1,137	
事業費合計 A+B		1,429	1,431	1,438	1,425	1,425	
事業費 の財源 内 訳	国	0	0	0	0	0	
	県	0	0	0	0	0	
	起債	0	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	0	
	一般財源	1,429	1,431	1,438	1,425	1,425	
職員数(人)		0.20	0.20	0.20	0.20	0.20	
職員数 の内訳	正規	0.10	0.10	0.10	0.10	0.10	
	嘱託	0.10	0.10	0.10	0.00	0.00	
	臨時	0.00	0.00	0.00	0.10	0.10	

< 4. 指標 > DO

		指 標 名	単 位	目標・実績	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
活動指標	1	学校（幼稚園）協力者会議の開催回数	回	目標	90	90	90	90	90
				実績	88	84	80	-	-
	幼稚園全体における開催回数の合計								
	2				目標				
			実績						
成果指標	1	子どもの幼稚園満足度	点	目標	2.9	2.9	2.9	2.9	2.9
				実績	3	2.9	3	-	-
	学校評価における各園の関係者評価結果の平均点								
	2				目標				
			実績						

<5. 評価> CHECK

事業を取りまく社会環境の状況	社会が複雑多様化し、子どもを取り巻く環境が大きく変化する中、子ども達に豊かな感性や道徳心、人間関係作りなどの力を育み、社会生活を送るうえで必要な資質、能力、態度を育成することが大切である		
これまでの見直しや改善等の経過	各園で、家庭、地域が一体となって地域ぐるみで子どもを育てていこうとする取組が推進されている。		
項目別評価	評価	評価理由	
妥当性 (実施主体又は手段は妥当か)	<input checked="" type="checkbox"/> A. 妥当である <input type="checkbox"/> B. ほぼ妥当である <input type="checkbox"/> C. あまり妥当ではない <input type="checkbox"/> D. 妥当ではない	広く地域に幼稚園を開き、家庭、地域とともに緊密な連携を図りながら、子ども達の育成に取り組む事業として重要である。	
有効性 (事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか)	<input checked="" type="checkbox"/> A. 上がっている <input type="checkbox"/> B. やや上がっている <input type="checkbox"/> C. あまり上がっていない <input type="checkbox"/> D. 上がっていない	地域社会に根ざした園づくりの実現に地域人材の活用や、協力体制の充実が図られている。また、子ども達の安心・安全の確保、緊急対応などの協力や支援は大変大きい。	
効率性 (事業手法は効率的であるか。)	<input checked="" type="checkbox"/> A. 高い <input type="checkbox"/> B. やや高い <input type="checkbox"/> C. やや低い <input type="checkbox"/> D. 低い	各園の実態に応じた外部人材の活用が子ども達の生活や体験の豊かさにつながり、特色ある園経営となっている。	
総合評価	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 計画どおり事業を進めることが適当 <input type="checkbox"/> 2. 事業の進め方に改善が必要 <input type="checkbox"/> 3. 事業規模の見直しが必要 <input type="checkbox"/> 4. 事業の抜本的見直しや廃止が必要		

施策への貢献度	<input checked="" type="checkbox"/> A. 貢献している <input type="checkbox"/> B. やや貢献している <input type="checkbox"/> C. あまり貢献していない <input type="checkbox"/> D. 貢献していない	協力者会議による関係者評価結果に基づき、家庭や地域社会と協調した園運営や教育活動のあり方の改善につながっている。
---------	--	--

<6. 今後の方向性> ACTION

方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 2. 見直しの上で継続 (<input type="checkbox"/> 2-1. 拡充・重点化 <input type="checkbox"/> 2-2. 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-3. 効率化 <input type="checkbox"/> 2-4. 簡素化・縮小 <input type="checkbox"/> 2-5. 統合 <input type="checkbox"/> 2-6. その他) <input type="checkbox"/> 3. 終期の設定 <input type="checkbox"/> 4. 終了 () <input type="checkbox"/> 5. 休止 <input type="checkbox"/> 6. 廃止	今後も園と地域、保護者がより緊密な連携を図り、地域の子どもの育成していく協力体制の基盤として、外部人材を活用した事業の推進に努める。
部局長コメント	幼稚園と地域・保護者がともに協力して子どもの育成を図る上で、幼稚園運営支援の方策として外部人材を活用することは有効であり、引き続き適切な事業の推進に努める。	

<7. 評価分析> ※成果増減率、コスト増減率は対前年度比

区分	平成29年度	平成30年度	令和元年度
目標達成率	指標1 103.44 %	100.00 %	103.44 %
	指標2 - %	- %	- %
成果増減率	指標1 - %	-3.33 %	+3.44 %
	指標2 - %	%	%
活動単位コスト	指標1 16 千円	17 千円	17 千円
	指標2 - 千円	- 千円	- 千円
成果単位コスト	指標1 476 千円	493 千円	479 千円
	指標2 - 千円	- 千円	- 千円
コスト増減率	- %	+3.59 %	-2.86 %

令和 2年度 事務事業評価シート

[令和元年度事後評価]

整理番号	120		
部 局 名	福祉子ども部	所 属 名	保育幼稚園課
事務事業名	00116 私立幼稚園運営費補助事業	所 属 長	栗田 昌伸
		記 入 者	辻本 昭壽

＜1. 基本事項＞

総合計画の位置付け	区分	コード	名 称	根 拠 法令等	私立幼稚園運営費補助金交付基準
	方針	01	子どもから高齢者までが輝いて、魅力あふれるまちを創ります	関連する個別計画	
	政策	01	子どもの未来が輝くまちにします		
	施策	01	子育て環境の充実		
	視点	02	市立幼稚園3年保育の実施等、幼児教育の充実と集団規模の適正化		
重事	99	その他			

関連事業	コード	事務事業名称	コード	所属名称
	00114	幼稚園就園奨励費補助事業	1410	保育幼稚園課

予算事業	会計	枠	事業種別	予算事業名	始期・終期
	一般会計	特定	評価対象事業	私立幼稚園運営費補助事業費	

事業の概要
 公立による私立の経営圧迫を軽減し公私立幼稚園の共存共栄と私立幼稚園の教育振興がより一層図られることを目的に、私立幼稚園への運営補助を実施している。

運営方法 直営 指定管理者 民間委託 出資団体委託 補助金交付 その他 ()

＜2. 事業分析＞ PLAN

目的 (何のために)	私立幼稚園の教育振興を図るために
対象 (何又は誰を)	市内私立幼稚園を対象に
手段 (どのようなやり方で)	正規職員給与費一人あたり75,000円/年、園児の教材費一人あたり2,000円/年、管理経費(光熱水費等)として(職員+園児)一人あたり300円/年の一部補助する。
成果 (どのような状態にするのか)	私立幼稚園の経費負担を軽減する

＜3. 経費＞ DO

		平成29年度 決算額(千円)	平成30年度 決算額(千円)	令和元年度 決算額(千円)	令和2年度 予算額(千円)	令和3年度 見込額(千円)	備 考
直接経費 A		4,112	4,104	3,994	4,164	2,753	
人件費 B		410	410	415	415	415	
事業費合計 A+B		4,522	4,514	4,409	4,579	3,168	
事業費の財源内訳	国	0	0	0	0	0	
	県	0	0	0	0	0	
	起債	0	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	0	
	一般財源	4,522	4,514	4,409	4,579	3,168	
職員数(人)		0.05	0.05	0.05	0.05	0.05	
職員数の内訳	正規	0.05	0.05	0.05	0.05	0.05	
	嘱託	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	臨時	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

＜4. 指標＞ DO

		指 標 名	単 位	目標・実績	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
活動指標	1	補助対象園数	園	目標	3	3	3	3	2
				実績	3	3	3	-	-
市内私立幼稚園数(補助対象園数)									
活動指標	2			目標					
				実績					
成果指標	1	園児数	人	目標	538	497	468	467	340
				実績	511	475	467	-	-
市内私立幼稚園園児数									
成果指標	2			目標					
				実績					

令和 2年度 事務事業評価シート

[令和元年度事後評価]

整理番号	121		
部 局 名	福祉子ども部	所 属 名	子ども家庭課
事務事業名	02414 次世代育成支援行動計画推進事業	所 属 長	足立 延宏
		記 入 者	高橋 純子

< 1. 基本事項 >

総合計画の位置付け	区分	コード	名 称	根 拠 法令等	社会福祉法、次世代育成支援対策推進法、子ども・子育て支援法 大津市次世代育成支援行動計画
	方針	01	子どもから高齢者までが輝いて、魅力あふれるまちを創ります		
	政策	01	子どもの未来が輝くまちにします		
	施策	01	子育て環境の充実		
	視点	03	子ども・子育て支援事業の総合的・計画的な推進		
重事	01	次世代育成支援事業	関連する個別計画		

関連事業	コード	事務事業名称	コード	所属名称

予算事業	会計	枠	事業種別	予算事業名	始期・終期
	一般会計	政策	一般事務費	次世代育成支援行動計画推進事業費	

事業の概要
平成27年度から5年間、「第2次大津市次世代育成支援行動計画」に掲げる施策の進捗状況の管理を行い、子育て支援の機運の高まりを分析・評価しながら、取組や事業内容の改善を提言し、推進してきた。平成31年度は同計画に基づく取組の最終年度に当たる。

運営方法 直営 指定管理者 民間委託 出資団体委託 補助金交付 その他 ()

< 2. 事業分析 > PLAN

目的 (何のために)	次代の社会を担う子どもの健全な育成を図るため、
対象 (何又は誰を)	次世代育成支援対策を
手段 (どのようなやり方で)	推進・強化し、
成果 (どのような状態にするのか)	子どもの笑顔が輝くまちにする。

< 3. 経費 > DO

		平成29年度 決算額(千円)	平成30年度 決算額(千円)	令和元年度 決算額(千円)	令和2年度 予算額(千円)	令和3年度 見込額(千円)	備 考
直接経費 A		6,922	6,171	3,094	827	827	
人件費 B		14,761	13,950	17,159	3,735	3,735	
事業費合計 A+B		21,683	20,121	20,253	4,562	4,562	
事業費 の内訳	国	1,711	0	0	0	0	
	県	0	0	0	0	0	
	起債	0	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	0	
	一般財源	19,972	20,121	20,253	4,562	4,562	
職員数(人)		2.53	2.16	2.53	0.45	0.45	
職員数 の内訳	正規	1.58	1.56	1.93	0.45	0.45	
	嘱託	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	臨時	0.95	0.60	0.60	0.00	0.00	

< 4. 指標 > DO

		指 標 名	単 位	目標・実績	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
活動指標	1	取組事業数	件	目標	428	428	428	0	0
		実績		428	428	428	-	-	
第2次次世代育成支援行動計画の取組事業数									
2				目標					
				実績					
成果指標	1	次世代育成支援行動計画施策方向別指標評価平均	ポイント	目標	100	100	100	0	0
		実績		73	71	0	-	-	
第2次次世代育成支援行動計画での施策方向別(6方向)指標での評価平均									
2				目標					
				実績					

令和 2年度 事務事業評価シート

[令和元年度事後評価]

整理番号	122	部 局 名	福祉子ども部	所 属 名	子ども家庭課	所 属 長	足立 延宏
事務事業名	00014 児童館運営事業	記 入 者	高橋 純子				

＜1. 基本事項＞

総合計画の位置付け	区分	コード	名 称	根 拠 法令等	児童福祉法
	方針	01	子どもから高齢者までが輝いて、魅力あふれるまちを創ります		第2次大津市次世代育成支援行動計画
	政策	01	子どもの未来が輝くまちにします		
	施策	01	子育て環境の充実		
	視点	03	子ども・子育て支援事業の総合的・計画的な推進		
重事	99	その他			

関連事業	コード	事 務 事 業 名 称	コード	所 属 名 称

予算事業	会 計	枠	事 業 種 別	予 算 事 業 名	始 期 ・ 終 期
	一般会計	管理	評価対象事業	児童館運営費	

事業の概要
 7児童館が、児童館運営基本方針及び活動基本指針に基づき、より広域的に多くの児童が利用できる魅力ある児童館づくりを積極的に推進し、あわせて地域における子どもの健全育成や子育て機能の充実を図っていく。

運営方法 直営 指定管理者 民間委託 出資団体委託 補助金交付 その他 ()

＜2. 事業分析＞ PLAN

目的 (何のために)	子どもの健全育成や子育て支援、又、地域の子育て支援機関や組織との連携を図り、地域組織活動の育成をすることを目的として
対象 (何又は誰を)	0歳～18歳未満の子どもや、子育て中の保護者を対象に
手段 (どのようなやり方で)	長期的・継続的にかかわり、遊び及び生活を通して子どもの発達の増進を図り、遊びの拠点と「居場所」場の提供、家庭や地域に対する子育て支援活動を実施し、
成果 (どのような状態にするのか)	子育てに対する負担の軽減となり、親子がいきいきと生活できたり、小中学生が友だちの中で自分を発揮し、地域やいろいろな世代の方とのつながりを深めたりする。

＜3. 経費＞ DO

		平成29年度 決算額(千円)	平成30年度 決算額(千円)	令和元年度 決算額(千円)	令和2年度 予算額(千円)	令和3年度 見込額(千円)	備 考
直接経費 A		14,296	11,436	13,054	10,799	19,226	
人件費 B		136,735	130,860	129,124	136,022	136,022	
事業費合計 A+B		151,031	142,296	142,178	146,821	155,248	
事業費の内訳	国	0	0	0	0	0	
	県	0	0	0	0	0	
	起債	0	0	0	0	0	
	その他	232	209	150	234	234	
	一般財源	150,799	142,087	142,028	146,587	155,014	
職員数(人)		33.41	29.82	33.33	32.36	32.36	
職員数の内訳	正規	9.23	9.37	7.11	8.40	8.40	
	嘱託	16.90	16.90	19.90	0.00	0.00	
	臨時	7.28	3.55	6.32	23.96	23.96	

＜4. 指標＞ DO

		指 標 名	単 位	目標・実績	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	
活動指標	1	親子ふれあい活動事業数	回	目標	650	650	650	490	650	
				実績	550	525	462	-	-	
	7児童館の親子ふれあい活動事業数(就学前の親子対象とした活動)									
	2	小中学生以上活動事業数	回	目標	400	400	400	300	400	
実績				274	336	260	-	-		
7児童館の小中学生以上活動事業数										
成果指標	1	児童館親子ふれあい活動参加者数	人	目標	25,000	25,000	25,000	18,750	25,000	
				実績	20,346	17,672	13,257	-	-	
	7児童館の親子ふれあい活動参加者の合計数									
	2	親子ふれあい活動について満足度 80%以上の人数割合	%	目標	100	100	100	100	100	
実績				100	100	100	-	-		
7児童館の親子ふれあい活動(3歳児登録制)参加者の満足度指数										

令和 2年度 事務事業評価シート

[令和元年度事後評価]

整理番号	123				
部 局 名	福祉子ども部	所 属 名	子ども家庭課	所 属 長	足立 延宏
事務事業名	00044	ファミリーサポートセンター運営事業	記 入 者	高橋 純子	

< 1. 基本事項 >

総合計画の位置付け	区分	コード	名 称	根 拠 法令等	天津市ファミリーサポートセンター事業実施要綱 第2次天津市次世代育成支援行動計画
	方針	01	子どもから高齢者までが輝いて、魅力あふれるまちを創ります		
	政策	01	子どもの未来が輝くまちにします		
	施策	01	子育て環境の充実		
	視点	03	子ども・子育て支援事業の総合的・計画的な推進		
重事	99	その他		関連する個別計画	

関連事業	コード	事務事業名称	コード	所属名称

予算事業	会計	枠	事業種別	予算事業名	始期・終期
	一般会計	政策	評価対象事業	ファミリーサポートセンター運営事業費	

事業の概要
仕事と育児を両立できる環境を整備するとともに、地域の子育て支援を行うため、平成13年4月に「ファミリーサポートセンター」を設立し、同年7月から会員による相互援助活動を行っている。
事業の管理運営については、社会福祉法人大津市社会福祉協議会に委託している。

運営方法 直営 指定管理者 民間委託 出資団体委託 補助金交付 その他 ()

< 2. 事業分析 > PLAN

目的 (何のために)	仕事と育児を両立できる環境を整備するとともに、地域の子育て支援を行うために、
対象 (何又は誰を)	育児の援助を行いたい者と受けたい者が、ファミリーサポートセンターで会員登録し、
手段 (どのようなやり方で)	ファミリーサポートセンターのアドバイザーが会員間のニーズのあった調整を行い、援助活動を実施し、
成果 (どのような状態にするのか)	仕事と育児の両立支援、地域の子育て支援を行う。

< 3. 経費 > DO

		平成29年度 決算額(千円)	平成30年度 決算額(千円)	令和元年度 決算額(千円)	令和2年度 予算額(千円)	令和3年度 見込額(千円)	備 考
直接経費 A		13,839	13,817	13,792	14,021	14,446	
人件費 B		902	820	830	1,328	1,328	
事業費合計 A+B		14,741	14,637	14,622	15,349	15,774	
事業費の内訳	国	4,645	4,558	4,668	4,673	4,815	
	県	4,613	4,595	4,597	4,673	4,815	
	起債	0	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	0	
	一般財源	5,483	5,484	5,357	6,003	6,144	
職員数(人)		0.11	0.10	0.10	0.16	0.16	
職員数の内訳	正規	0.11	0.10	0.10	0.16	0.16	
	嘱託	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	臨時	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

< 4. 指標 > DO

		指 標 名	単 位	目標・実績	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
活動指標	1	センター会員数(新規)	人	目標	200	200	200	200	200
		実績		189	206	184	-	-	
	会員登録数(依頼会員、提供会員、両方会員)								
	2	説明会、講習会等の参加人数	人	目標	400	400	400	400	400
実績		305		255	247	-	-		
会員のための講習会、交流会参加人数									
成果指標	1	センター活動件数	件	目標	5,000	5,500	5,500	5,226	5,330
		実績		5,132	4,616	6,117	-	-	
	実際に援助活動を行った件数								
	2			目標					
			実績						

令和 2年度 事務事業評価シート

[令和元年度事後評価]

整理番号	131		
部 局 名	福祉子ども部	所 属 名	子ども家庭相談室
事務事業名	00020 子育て短期支援事業	所 属 長	大石 雅代
		記 入 者	高橋 忠

＜1. 基本事項＞

総合計画の位置付け	区分	コード	名 称	根 拠 法令等	子育て短期支援事業実施要綱 大津市子ども・若者支援計画
	方針	01	子どもから高齢者までが輝いて、魅力あふれるまちを創ります		
	政策	01	子どもの未来が輝くまちにします		
	施策	01	子育て環境の充実		
	視点	03	子ども・子育て支援事業の総合的・計画的な推進		
重事	99	その他	関連する個別計画		

関連事業	コード	事務事業名称	コード	所属名称

予算事業	会 計	枠	事業種別	予算事業名	始 期 ・ 終 期
	一般会計	特定	評価対象事業	子育て短期支援事業費	

事業の概要
児童を養育している家庭において、保護者の疾病、出産等の社会的な理由や保護者の仕事の理由等によって、家庭での児童の養育が一時的に困難になった場合に児童養護施設等において一時的に養育することにより、これらの児童及びその家庭の福祉の向上を図る。短期入所生活援助（ショートステイ）事業と夜間養護（トワイライトステイ）事業を行う。

運営方法 直営 指定管理者 民間委託 出資団体委託 補助金交付 その他（ ）

＜2. 事業分析＞ PLAN

目的 (何のために)	保護者の疾病、出産等の理由によって、家庭での児童の育児が一時的に困難になった場合に、児童養護施設等で一時的に養育する事業を実施することにより、これらの児童及びその家庭の福祉の向上を図る。
対象 (何又は誰を)	市内に住所を有する満1歳から小学生まで（トワイライトステイでは小学生）の児童で、保護者の疾病、出産等の理由により家庭において養育を受けることが一時的に困難となったもの。
手段 (どのようなやり方で)	ショートステイ事業においては乳児院、児童養護施設、里親に委託することにより、一時的に養育する。また、トワイライトステイ事業においては児童養護施設、里親に通所させる。
成果 (どのような状態にするのか)	一時的に養育困難な児童及びその家庭の福祉の向上を図る。

＜3. 経費＞ DO

		平成29年度 決算額(千円)	平成30年度 決算額(千円)	令和元年度 決算額(千円)	令和2年度 予算額(千円)	令和3年度 見込額(千円)	備 考
直接経費 A		1,005	789	1,207	842	930	
人件費 B		1,640	1,640	1,660	1,660	1,660	
事業費合計 A+B		2,645	2,429	2,867	2,502	2,590	
事業費の内訳	国	226	253	286	227	248	
	県	289	207	322	227	248	
	起債	0	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	0	
	一般財源	2,130	1,969	2,259	2,048	2,094	
職員数(人)		0.20	0.20	0.20	0.20	0.20	
職員数の内訳	正規	0.20	0.20	0.20	0.20	0.20	
	嘱託	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	臨時	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

＜4. 指標＞ DO

		指 標 名	単 位	目標・実績	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
活動指標	1	相談件数	件	目標	28	75	103	103	103
				実績	75	103	86	-	-
	2			目標					
				実績					
成果指標	1	利用延日数	日	目標	100	262	138	138	0
				実績	262	138	211	-	-
			事業利用件数(利用延日数)						
	2	利用延人数	人	目標	28	75	75	75	75
実績				75	60	62	-	-	
		事業利用件数(利用延人数)							

令和 2年度 事務事業評価シート

[令和元年度事後評価]

整理番号	134				
部 局 名	福祉子ども部	所 属 名	子育て総合支援センター	所 属 長	清河 康成
事務事業名	00036	子育て総合支援センター事業	記 入 者	清水 友美子	

< 1. 基本事項 >

総合計画の位置付け	区分	コード	名 称	根 拠 法令等	子ども・子育て支援法 大津市次世代育成支援行動計画
	方針	01	子どもから高齢者までが輝いて、魅力あふれるまちを創ります		
	政策	01	子どもの未来が輝くまちにします		
	施策	01	子育て環境の充実		
	視点	03	子ども・子育て支援事業の総合的・計画的な推進		
	重事	02	子ども・子育て支援事業	関連する個別計画	
関連事業	コード	事務事業名称		コード	所属名称
予算事業	会計	枠	事業種別	予算事業名	始期・終期
	一般会計	管理	評価対象事業	子育て総合支援センター事業費	
事業の概要	・大津市の子育て支援に係る企画、実践、情報収集と発信の拠点として事業展開する。 「子どもや子育てに夢が広がる場、世代を超える出会いとつながりあいの場、安心と信頼の気持ちを抱き、誰もが集える場、子育ては楽しい! 幸せと感じる場、一人ひとりの出番があり、共に育ち合える場」を理念に、情報の収集と発信事業、親子・家族の交流、学習、体験事業、子育て語り合い相談事業等を行う。				
運営方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 指定管理者 <input type="checkbox"/> 民間委託 <input type="checkbox"/> 出資団体委託 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ()				

< 2. 事業分析 > PLAN

目的 (何のために)	・子どもを安心して産み育て、共に育ち合う子育て仲間のつながるまちづくりを推進するために
対象 (何又は誰を)	・就学前の子どもとその家族や、子育て支援に関わる関係者等の子育て仲間を対象に
手段 (どのようなやり方で)	・日常的なつどいの場の開設、気軽に集え子育て支援につながる講座の開催、子育てについての相談対応、身近な居住地域における遊びの提供等、人と関わる心が心地よいと感じる親子、家族の体験活動を通して
成果 (どのような状態にするのか)	・子育ての楽しさや子どもを地域で育て合う大切さを認識し、自身の子育てに活かし、子育て仲間とつながり合い、共に子育てを楽しむことを通して、子育ての負担感を軽減し、子どもを産み育てることに喜びを見出す。

< 3. 経費 > DO

	平成29年度 決算額(千円)	平成30年度 決算額(千円)	令和元年度 決算額(千円)	令和 2年度 予算額(千円)	令和 3年度 見込額(千円)	備 考
直接経費 A	16,571	16,683	15,427	12,585	12,585	
人件費 B	61,916	54,297	47,290	50,786	50,786	
事業費合計 A+B	78,487	70,980	62,717	63,371	63,371	
事業費の内訳	国	2,788	2,830	2,901	2,901	2,901
	県	2,788	2,830	2,901	2,901	2,901
	起債	0	0	0	0	0
	その他	783	215	176	264	264
	一般財源	72,128	65,105	56,739	57,305	57,305
職員数(人)	13.12	11.94	10.60	10.41	10.41	
職員数の内訳	正規	5.82	4.70	3.82	3.60	3.60
	嘱託	2.33	2.62	2.31	0.00	0.00
	臨時	4.97	4.62	4.47	6.81	6.81

< 4. 指標 > DO

	指 標 名	単 位	目標・実績	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和 2年度	令和 3年度
活動指標	1 子育て総合支援センター開設日	日	目標	293	293	293	242	293
			実績	290	292	268	-	-
活動指標	2 子育て講座開催回数	回	目標	500	500	500	280	500
			実績	531	511	452	-	-
成果指標	1 子育て総合支援センター来場者数	人	目標	80,000	80,000	80,000	14,000	80,000
			実績	75,726	74,124	60,105	-	-
成果指標	2 年間事業参加人数	人	目標	30,000	30,000	30,000	12,000	30,000
			実績	28,711	16,788	14,883	-	-

<5. 評価> CHECK

事業を取りまく社会環境の状況	出生率の減少や幼稚園の3年保育の実施、保育園の新規開設等により、子育て支援拠点の利用者は低年齢化、減少傾向にある。		
これまでの見直しや改善等の経過	利用者の低年齢化に伴い、講座の内容を見直し利用者満足度の向上を図った。		
項目別評価	評価	評価理由	
妥当性 (実施主体又は手段は妥当か)	<input checked="" type="checkbox"/> A. 妥当である <input type="checkbox"/> B. ほぼ妥当である <input type="checkbox"/> C. あまり妥当ではない <input type="checkbox"/> D. 妥当ではない	市内にある6か所のつどいの広場を統括する拠点である当センターは、関係機関とも連携できるため市が運営することが妥当である。	
有効性 (事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか)	<input type="checkbox"/> A. 上がっている <input checked="" type="checkbox"/> B. やや上がっている <input type="checkbox"/> C. あまり上がっていない <input type="checkbox"/> D. 上がっていない	出生率の低下、幼稚園の3年保育の実施に伴い来場者は減少しているが、リピーター率は94%あり、子育て中の家族にとって必要な施設であると考えられる。	
効率性 (事業手法は効率的であるか。)	<input type="checkbox"/> A. 高い <input checked="" type="checkbox"/> B. やや高い <input type="checkbox"/> C. やや低い <input type="checkbox"/> D. 低い	大津市の子育て支援の拠点として、各福祉エリアにあるつどいの広場や子育て支援機関と連携するとともに、子育てアプリを活用し効率的な子育て情報の発信を行っている。	
総合評価	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 計画どおり事業を進めることが適当 <input type="checkbox"/> 3. 事業規模の見直しが必要	<input type="checkbox"/> 2. 事業の進め方に改善が必要 <input type="checkbox"/> 4. 事業の抜本的見直しや廃止が必要	

施策への貢献度	<input checked="" type="checkbox"/> A. 貢献している <input type="checkbox"/> B. やや貢献している <input type="checkbox"/> C. あまり貢献していない <input type="checkbox"/> D. 貢献していない	子育て中の家族がつどえる場の提供や子育ての様々な情報の発信をするとともに、市内の子育て支援機関との連携が図れ施策に貢献している。
---------	--	--

<6. 今後の方向性> ACTION

方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 2. 見直しの上で継続 (<input type="checkbox"/> 2-1. 拡充・重点化 <input type="checkbox"/> 2-2. 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-3. 効率化 <input type="checkbox"/> 2-4. 簡素化・縮小 <input type="checkbox"/> 2-5. 統合 <input type="checkbox"/> 2-6. その他) <input type="checkbox"/> 3. 終期の設定 <input type="checkbox"/> 4. 終了 () <input type="checkbox"/> 5. 休止 <input type="checkbox"/> 6. 廃止	市内の各つどいの広場の機能の充実を図りながら、当センターが全体を総括し、関係機関や子育て支援者と連携しながら、地域の中で子育て中の家族が安心して利用し、育ち合えるための事業を展開していく。また、子育てアプリ等を活用して幅広く子育ての情報を発信していく。
部局長コメント	子育て中の家族が安心して利用し、育ち合える事業の一層の充実に努めていく。	

<7. 評価分析> ※成果増減率、コスト増減率は対前年度比

区分		平成29年度	平成30年度	令和元年度
目標達成率	指標1	94.65 %	92.65 %	75.13 %
	指標2	95.70 %	55.96 %	49.61 %
成果増減率	指標1	- %	-2.11 %	-18.91 %
	指標2	- %	-41.52 %	-11.34 %
活動単位コスト	指標1	270 千円	243 千円	234 千円
	指標2	147 千円	138 千円	138 千円
成果単位コスト	指標1	1 千円	0 千円	1 千円
	指標2	2 千円	4 千円	4 千円
コスト増減率		- %	+23.52 %	+4.31 %

令和 2年度 事務事業評価シート

[令和元年度事後評価]

整理番号	135		
部 局 名	福祉子ども部	所 属 名	子育て総合支援センター
事務事業名	02384 子育て地域活動支援事業	所 属 長	清河 康成
		記 入 者	清水 友美子

< 1. 基本事項 >

総合計画の位置付け	区分	コード	名 称	根 拠 法令等	子ども・子育て支援法
	方針	01	子どもから高齢者までが輝いて、魅力あふれるまちを創ります	関連する個別計画	大津市次世代育成支援行動計画
	政策	01	子どもの未来が輝くまちにします		
	施策	01	子育て環境の充実		
	視点	03	子ども・子育て支援事業の総合的・計画的な推進		
重事	02	子ども・子育て支援事業			

関連事業	コード	事務事業名称	コード	所属名称

予算事業	会計	枠	事業種別	予算事業名	始期・終期
	一般会計	政策	評価対象事業	子育て地域活動支援事業費	

事業の概要
 福祉7エリア内に、子育て中の家族が気軽に集い交流できる子育て支援の拠点を整備した。
 ・地域子育て支援拠点は、木戸および東部エリアで指定管理者2か所により実施。北部および中北部・南部エリアで私立保育園3園により実施。中部および中南部で直営により2か所実施。
 ・子育てステーション事業：市立保育園14か所実施。

運営方法 直営 指定管理者 民間委託 出資団体委託 補助金交付 その他 ()

< 2. 事業分析 > PLAN

目的 (何のために)	子育て中の家族の不安感・負担感を軽減し、孤立化を防止するために
対象 (何又は誰を)	就学前の子どもとその家族を対象に
手段 (どのようなやり方で)	気軽に集い交流できる子育て支援の拠点を地域に開設し、
成果 (どのような状態にするのか)	安心して子育てができる環境を整備し、地域の子育て支援機能を充実させる。

< 3. 経費 > DO

		平成29年度 決算額(千円)	平成30年度 決算額(千円)	令和元年度 決算額(千円)	令和2年度 予算額(千円)	令和3年度 見込額(千円)	備 考
直接経費 A		32,311	31,864	33,113	32,493	32,493	
人件費 B		9,749	13,679	18,994	19,945	19,945	
事業費合計 A+B		42,060	45,543	52,107	52,438	52,438	
事業費の内訳	国	9,960	10,101	10,351	10,379	10,379	
	県	9,960	10,101	10,351	10,379	10,379	
	起債	0	0	0	0	0	
	その他	22	14	10	14	14	
	一般財源	22,118	25,327	31,395	31,666	31,666	
職員数(人)		2.64	2.67	3.32	3.26	3.26	
職員数の内訳	正規	0.80	1.80	1.90	1.90	1.90	
	嘱託	0.10	0.00	0.45	0.00	0.00	
	臨時	1.74	0.87	0.97	1.36	1.36	

< 4. 指標 > DO

		指 標 名	単 位	目標・実績	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
活動指標	1	つどいの広場箇所数	か所	目標	6	6	6	6	6
				実績	6	6	6	-	-
	箇所数								
	2	ステーション事業実施園数	か所	目標	14	14	14	14	14
実績				14	14	14	-	-	
箇所数									
成果指標	1	つどいの広場来場者数	人	目標	75,000	75,000	75,000	12,000	75,000
				実績	68,299	66,861	57,443	-	-
	来場した大人+子ども=来場者数								
	2	ステーション事業参加者数	人	目標	13,500	13,500	13,500	6,750	13,500
実績				10,567	8,023	6,930	-	-	
来場した大人+子ども=来場者数									

令和 2年度 事務事業評価シート

[令和元年度事後評価]

整理番号	20	
部 局 名	総務部	所 属 名 総務課
事務事業名	00195 私学振興対策事業	所 属 長 堀口 善健
		記 入 者 佐々谷 友美

< 1. 基本事項 >

総合計画の位置付け	区分	コード	名 称	根 拠 法令等	私立学校法第59条、私立学校振興助成法
	方針	01	子どもから高齢者までが輝いて、魅力あふれるまちを創ります		
	政策	01	子どもの未来が輝くまちにします	関連する個別計画	
	施策	01	子育て環境の充実		
	視点	99	その他		
重事	99	その他			

関連事業	コード	事務事業名称	コード	所属名称

予算事業	会計	枠	事業種別	予算事業名	始期・終期
	一般会計	特定	評価対象事業	私学振興対策費	

事業の概要
 私立学校等の教育環境の整備を図るとともに、通学児童生徒の健全な育成・発展に資するため「私立学校等振興助成金」として交付する。

運営方法 直営 指定管理者 民間委託 出資団体委託 補助金交付 その他 ()

< 2. 事業分析 > PLAN

目的 (何のために)	私立学校等の教育環境整備等を支援することにより、通学児童生徒の健全な育成・発展に資する。
対象 (何又は誰を)	市内の私立学校等（滋賀短期大学附属高等学校・比叡山中学校・比叡山高等学校・滋賀朝鮮学園）
手段 (どのようなやり方で)	各学校に通学する市内在住児童生徒数に対し、補助額交付単価を乗じた額を助成
成果 (どのような状態にするのか)	教育環境整備及び学校経営の支援

< 3. 経費 > DO

		平成29年度 決算額(千円)	平成30年度 決算額(千円)	令和元年度 決算額(千円)	令和2年度 予算額(千円)	令和3年度 見込額(千円)	備 考
直接経費 A		2,268	2,134	2,118	2,163	2,163	
人件費 B		164	164	166	166	166	
事業費合計 A+B		2,432	2,298	2,284	2,329	2,329	
事業費の内訳	国	0	0	0	0	0	
	県	0	0	0	0	0	
	起債	0	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	0	
	一般財源	2,432	2,298	2,284	2,329	2,329	
職員数(人)		0.02	0.02	0.02	0.02	0.02	
職員数の内訳	正規	0.02	0.02	0.02	0.02	0.02	
	嘱託	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	臨時	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

< 4. 指標 > DO

		指 標 名	単 位	目標・実績	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	
活動指標	1	助成対象生徒数	人	目標	1,840	1,740	1,740	1,740	0	
				実績	1,664	1,659	1,571	-	-	
	5月1日現在の市内在住児童生徒数									
	2			目標						
		実績								
成果指標	1	助成金額	千円	目標	2,913	2,299	2,299	2,299	0	
				実績	2,268	2,134	2,119	-	-	
	補助単価×5月1日現在の市内在住児童生徒数									
	2			目標						
		実績								

